

第3章 パブリック空間や空き地、空き店舗の再生・利活用等の先進的な取組の紹介・官民のまちづくり関係者の連携促進の場の企画・運営による知見の収集・データの整理

3.1 イベントの企画・運営

先進的なまちづくりに取り組む官民連携によるエリアプラットフォームや都市再生推進法人等の民間のまちづくり団体が、実践から得た知見や課題等を紹介し、官民のまちづくり関係者が相互に情報共有・連携を促進する場として、オンラインでの配信イベントを企画し、運営等を行った。

3.1.1 イベント実施概要

国土交通省と全国エアーマネジメントネットワークの共催によるイベント「官民連携まちづくり DAY2023」を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、オンラインで開催した。登壇者の講演とトークセッションにより、参加者がまちづくりに関する知見や最新の取組に関する情報を収集し、ともに議論できる場として、下記のとおり実施した。

表 3.1-1 イベント概要

開催日時	令和5年1月30日(月)14:00～17:00
会場	DMO 丸の内東京より配信
開催方式	オンライン配信(Zoom) ※登壇者は会場に参集
次第	1. オープニングトーク 目的の発信など 2. インプットトーク① 「変化する金融と事業機会としてのまちづくりとの連携」 3. インプットトーク② 「まちづくりと経済再生-ローカルファースト型の実践-」 4. 休憩 5. セッション テーマ:経済とまちづくり 6. 一般財団法人民間都市開発推進機構より情報発信 7. 全体総括 8. クロージングトーク

3.1.2 イベントの実施目的

主催者である国土交通省 都市局、全国エアーマネジメントネットワーク、及び受託者により協議を行い、都市再生推進法人等の民間まちづくり団体の活動において重要な“経済活動”をテーマとして設定した。

地域の課題を解決しつつ、継続的にまちづくりを進めていくためには、地域経済の仕組みから活動資金の調達まで、経済的な視点からまちづくりを考えていくことも重要である。本イベントは「経済とまちづくり」という視点で、参加者の皆さまから寄せられた質問・疑問をテーマとして、まちづくりの研究者・実践者・支援者が意見交換を行い、今後の経済とまちづくりについて考えることを目的とする。

3.1.3 登壇者

イベントのテーマ、実施目的を踏まえ、経済分野に精通した方、関連する実務経験が豊富な方を登壇者に選定した。

インプットトーク①の登壇者は、金融の専門家として非財務情報を活用した金融分野の企画・調査や産業調査業務に長らく関わってこられた竹ヶ原啓介氏とした。インプットトーク②の登壇者は、「まちづくり経済学者」として全国の地域活性化策の研究を行っておられる足立基浩氏とした。

セッションの登壇者は、インプットトーク①の竹ヶ原啓介氏、マーケットの企画・運営の視点から公共空間の活用の取組について研究されている鈴木美央氏、まちづくり団体として公共空間の活用・運営を実践されている内川亜紀氏、金融機関として地域づくりに対する金融の最前線で活躍されている山本卓也氏とし、ファシリテーターには、インプットトーク②の足立基浩氏に依頼した。

各登壇者の情報は以下のとおりである。

表 3.1-2 登壇者一覧

#	写真	所属・役職・氏名・	プロフィール
1		和歌山大学副学長 兼 経済学部経済学科 教授 足立 基浩 氏	1992 年 慶應義塾大学経済学部卒業。2001 年ケンブリッジ大学大学院土地経済学研究所にて博士号(Ph. D)を取得。世界 15 カ国、日本 300 箇所を調査にまわる「まちづくり経済学者」。都市活性化論などを専門分野とし、商店街活性化のため、自らが接客をつとめるオープンカフェ With を学生とともに経営。主要著書は「シャッター通り再生計画 (ミネルヴァ書房、2010 年、「不動産協会賞 (2012 年)」を受賞)
2		㈱日本政策投資銀行 設備投資研究所エグゼクティブフェロー(兼副所長) 竹ヶ原 啓介 氏	企業の環境対応を評価して融資条件に反映させる世界で初めての融資プログラム「DBJ 環境格付融資」を開発するなど、非財務情報を活用した金融分野の企画・調査や産業調査業務に長らく従事。国土交通省「不動産分野の社会的課題に対応する ESG 投資促進検討会」座長(2021 年～)など公職多数。著書「環境でこそ儲ける」(共著)など。
3		O+Architecture 合同会社代表・東京理科大学経営学部講師 鈴木 美央 氏	建築意匠設計、行政・企業のアドバイザー(ビジョン策定、公共空間活用、商店街支援等)、マーケットの企画・運営、研究・教育と建築に関わる業務を多岐に行う。二児の母であり、親と子の居場所としてのまちの在り方も専門とする。2018 年に「マーケットでまちを変える 人が集まる公共空間のつくり方」(学芸出版社)を出版、第九回不動産協会賞受賞。
4		札幌駅前通まちづくり㈱取締役統括マネージャー 内川 亜紀 氏	石塚計画デザイン事務所を経て、2010 年 9 月の「札幌駅前通まちづくり株式会社」設立時より勤務し、2015 年～統括マネージャー、2022 年より現職。一級建築士。チ・カ・ホ(札幌駅前通地下歩行空間)やアカプラ(札幌市北 3 条広場)などの公共空間の活用・運営など、札幌駅前通地区のエリアマネジメントに携わる。
5		㈱滋賀銀行 総合企画部サステナブル戦略室 サステナブル推進グループ長 山本 卓也 氏	同志社大学法学部を卒業後、滋賀銀行入行。法人向けコンサルティング部門等に従事。2017 年より総合企画部 CSR 室に配属以降、CSR や SDGs に関する企画および広報を兼務。2020 年より総合企画部サステナブル戦略室広報グループ長、2022 年より現職。

3.1.4 開催告知方法

開催にあたり、国土交通省による記者発表、案内チラシの作成、事務局が運営する note(記事を掲載できる SNS サービス)により、周知・参加者の募集を行った。

(1) 案内チラシの作成

チラシを作成し、国土交通省 HP や全国エリアマネジメントネットワークの Facebook に掲載、国土交通省都市局のメーリングリストで発信するなどして周知を行った。完成したチラシは次のとおりである。

図 3.1-1 告知チラシ



(2) note の運営

イベントの実施前後に参加者と継続的にコミュニケーションをとるため、記事を投稿し公開できる SNS サービスである note の事務局のアカウントにイベント開催情報、slido 紹介、イベントレポート等、計 3 本の記事を公開した。

表 3.1-3 イベント開催前の note 投稿記事

#	内容	公開日	URL	図表番号
1	イベント PR 記事	令和 4 年 12 月 26 日(月)	https://note.com/kanmin_machi/n/n1668b462f3b6	図 3.1-4,5
2	視聴者事前投票募集	令和 5 年 1 月 17 日(火)	https://note.com/kanmin_machi/n/n1b7d873b0c86	図 3.1-6



図 3.1-2 ヘッダー画像(全告知記事共通)



図 3.1-3note アカウント表示画面

2023/01/25 20:29 オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」が開催決定！ | 官民連携まちづくりDAY 2023...



オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」が開催決定！

♡ 4

官民連携まちづくりDAY 2023事務局
2023年12月26日 17:40

https://note.com/kannin_machi/h1668b4629b6 1/6

2023/01/25 20:29 オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」が開催決定！ | 官民連携まちづくりDAY 2023...



こんにちは！官民連携まちづくりDAY 2023事務局です。

例年、国土交通省と全国エリアマネジメントネットワークが開催しております、当イベントの開催が決定しました！今年は昨年度に続き、**オンラインでの開催**をいたします。（国土交通省HP [報道発表資料](#)）

参加申込は[コチラ](#)

本noteアカウントでは、開催案内および事後レポートを掲載しますのでアカウントをフォローの上、ぜひチェックしてみてくださいね！では早速、イベント内容をご紹介します。

イベント概要

https://note.com/kannin_machi/h1668b4629b6 2/6

2023/01/25 20:29 オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」が開催決定！ | 官民連携まちづくりDAY 2023...

①コンセプトメッセージ

地域の課題を解決しつつ、継続的にまちづくりを進めていくためには、地域経済の仕組みから活動資金の調達まで、経済的な視点からまちづくりを考え抜くことも重要です。

今回は「経済とまちづくり」という視点で、参加者の皆さまから寄せられた質問・疑問をテーマとして、まちづくりの研究者・実践者・支援者が意見交換を行います。今後のまちづくりについて、一緒に考えてみませんか？

官民連携まちづくりDAY【開催案内】

経済とまちづくりとの関係について
皆さんの質問を元に登壇者の皆さんと議論を展開していきます！

②ご登壇者およびプログラム

インプットトークとして経済とまちづくりについて、先駆的な取組を推進されているお二人をお話をいただきます。

インプットトーク[1]：
「変化する金融と事業機会としてのまちづくりとの連携」
竹ヶ原 啓介氏
((株)日本政策投資銀行 設備投資研究所エグゼクティブフェロー(兼副所長))

https://note.com/kannin_machi/h1060b402f9b6 3/6

2023/01/25 20:29 オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」が開催決定！ | 官民連携まちづくりDAY 2023...



インプットトーク[2]：
「まちづくりと経済再生—ローカルファーストの実践—」
足立 基浩氏
(和歌山大学副学長/経済学部経済学科 教授)



セッション
全登壇者への質問・疑問をテーマとした**まちづくりの研究者・実践者・支援者**による対話形式で議論をして頂きます。

https://note.com/kannin_machi/h1668b4629b6 4/6

図 3.1-4 イベント PR 記事

2023/01/25 20:29 オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」が開催決定！ | 官民連携まちづくりDAY 2023...



**OrArchitecture 合同会社代表
東京理科大学建築学部講師
鈴木 美央 氏**

建築家・設計、行政・企業のアドバイザー（ビジョン策定、公共空間活用、施設運営支援）、マーケットの企画・運営、市民・学生と協働に取り組む活動を多数に行う。二児の母であり、親子の協働所としてのまちづくりも専門とする。「マーケットでまちを築く」という考えを公共空間づくりに活かす。（学芸出版社）を出版。



**札幌駅前通まちづくり審
議会事務局 チェアマン
内川 亜紀 氏**

石川設計デザイン事務所を経て、「札幌駅前通まちづくり株式会社」設立後、まちづくりの推進に尽力。チーフ・市民協働推進課長代行として「コアコア」(札幌市北条広場)などの公共空間の活用・運営など、札幌駅前通地区のエリアマネジメントに携わる。



**株式会社 建築設計 総合企画課
マスタープラン編成課 マスタープラン推進グループ長
山本 卓也 氏**

同志社大学工学部を卒業後、建設銀行入行。法人向けコンサルティング部門等に在籍。2017年から総合企画課に所属し、SDGに貢献する企業および広域を支援。2020年より総合企画課マスタープラン推進グループ長。2022年より現職。

参加申込方法

当イベントは参加無料・事前申込制です。

2023年1月23日（月）までに以下よりお申込みをお願いします。

お申込み先
<https://forms.office.com/r/NpXN2HMHTE>



官民連携まちづくりDAY2023 申込フォーム

質問申込方法

https://note.com/kanmin_machi/h1668b4625b6 5/6

2023/01/25 20:29 オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」が開催決定！ | 官民連携まちづくりDAY 2023...

登壇者への質問を受け付けます！
詳細は参加登録者に別途ご案内いたします。

皆さまのイベントへの申込を心よりお待ちしております。

お問い合わせ先
官民連携まちづくりDAY 2023 事務局
機建設環境研究所
メール：kanmin23@kensetsukankyo.co.jp
担当：伊藤・清水・今井

https://note.com/kanmin_machi/h1668b4625b6 6/6

図 3.1-5 イベント PR 記事

2023/01/16 17:31 note — つくる、つはがる、とどける。

これは公開前の下書きです。

編集



オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」視聴者投票開始！

官民連携まちづくりDAY 2023事務局
2023年1月16日 16:32

https://note.com/kanmin_machizukuri/1b7d873b0c86 1/5

2023/01/16 17:31 note — つくる、つはがる、とどける。



こんにちは！官民連携まちづくりDAY 2023事務局です。

イベント開催に先立ちまして、視聴者の皆様より各登壇者へ聞いてみたい内容を投票形式にて募集します。

※お申込みがお済でない方は[こちら](#)からお申込み下さい。

投票手順

①以下から当イベントの「[slide](#)」にアクセス

Join Slido: Enter #code to vote and ask questions

Participate in a live poll, quiz or Q&A. No login required

https://note.com/kanmin_machizukuri/1b7d873b0c86 2/5

2023/01/16 17:31 app.slido

②各登壇者へ最も聞いてみたい事項（キーワード）に投票

③（send）ボタンで投票完了

（注意事項）

- ・各登壇者について最低1投票をお願いします。
- ・複数の選択肢に投票可能です。

投票期間

1月17日（火）～1月24日（火）
（期間中でも予告なく終了する場合がございます。）

登壇者紹介

1992年 慶應義塾大学経済学部卒業。2001年ケンブリッジ大学大学院土地経済学研究所にて博士号（Ph.D）を取得。世界15カ国、日本300箇所を調査にまわる「まちづくり経済学者」。都市活性化論などを専門分野とし、商店街活性化のため、自らが接客をつとめるオープンカフェ Withを学生とともに経営。主要著書は「シャッター通り再生計画（ミネルヴァ書房、2010年、「不動産協会賞（2012年）」を受賞）

和歌山大学副学長
経済学部経済学科 **足立 基浩 教授**

インタビューライター

https://note.com/kanmin_machizukuri/1b7d873b0c86 3/5

2023/01/16 17:31 note — つくる、つはがる、とどける。

インタビューライター
まちづくりの研究者

美日本政策投資銀行
設備投資研究所エグゼクティブフェロー（兼副所長）
竹ヶ原 啓介 氏

企業の環境対応を評価して融資条件に反映させる世界で初めての融資プログラムである「DBJ環境格付融資」の創設。環境を中心とする非財務情報を活用した金融分野の企画・調査や産業調査業務に長らく従事。

Architects会合会社代表
東京理科大学非常勤講師
鈴木 美央 氏

建築環境設計・行政・企業のアドバイザー。ビジネス環境・公共空間計画、施設環境整備、スマートシティの企画・運営、研究・教育と建築に関わる業務を多岐にわたる。二児の母であり、息と子の環境について考える日々も仕事とする。「スマートで暮らしを豊かにする」人が集まる公共空間のつくり方。『建築環境』を監修。

札幌駅前まちづくり委員会
環境建設マスターズ
内川 亜紀 氏

都市計画デザイン事務所を経て、「札幌駅前まちづくり委員会」運営開始。チカカホ（札幌駅前地下歩行空間）やアパルト（札幌市立道南小学校）などの環境整備。また、札幌市立道南小学校の環境整備など、札幌市立道南小学校の環境整備に携わる。『建築環境』を監修。

株式会社環境銀行 助成会理事
サステナブル環境・リアルエシエンティグループ長
山本 卓也 氏

同志社大学経済学部卒業。環境銀行入行。金融庁のコンプライアンス研修に出席。2017年より株式会社環境銀行に転職。2020年より株式会社環境銀行の環境銀行グループ長。2022年より現職。

お問い合わせ先
官民連携まちづくりDAY 2023 事務局
（環境建設環境研究所）
メール：kanmin23@kensetsukankyo.co.jp
担当：伊藤・清水・今井

https://note.com/kanmin_machizukuri/1b7d873b0c86 4/5

図 3.1-6 視聴者事前投票募集

3.1.5 参加申込

イベントへの参加は事前申し込み制とし、オンライン入力フォームで実施した。申込募集期間・申込者・入力フォームなどの詳細は以下のとおりである。

表 3.1-4 申込募集期間

募集期間
令和4年12月22日(水)～令和5年1月23日(月)

表 3.1-5 申込者数

属性	人数
都市再生推進法人	19名
民間等(※都市再生推進法人除く)	338名
学生・大学関係者等	11名
地方公共団体	250名
国土交通省(地方整備局含む)	9名
他省庁	2名
不明	55名
合計	684名

【官民連携まちづくりDAY2023】
参加申込フォーム

オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023」の申し込みフォームです。

開催日時：2023年1月30日(月) 14:00-17:00
申込締切：2023年1月23日(月)

主催：国土交通省・全国エリアマネジメントネットワーク

※イベント開催数日前には、視聴用のURLを送信いたします。

...

* 必須

1. 氏名 *


回答を入力してください

所属(属性) *

< > ... 複製 共有

図 3.1-7 申込フォームの表示画面(スマートフォン・タブレット)

20230125 20:49 [官民連携まちづくりDAY2023] 参加申込フォーム



【官民連携まちづくりDAY2023】 参加申込フォーム

オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023」の申し込みフォームです。

開催日時：2023年1月30日（月）14:00-17:00
申込締切：2023年1月23日（月）

主催：国土交通省・全国エリアマネジメントネットワーク

※イベント開催数日前には、視聴用のURLを送信いたします。

* 必須

* このフォームでは名前の記録を行います、名前を入力してください。

1. 氏名 *

20230125 20:49 [官民連携まちづくりDAY2023] 参加申込フォーム

2. 所属（属性） *

都市再生推進法人

民間等（都市再生推進法人を除く）

学生・大学関係者等

地方公共団体

国土交通省（地方整備局を含む）

信密庁

その他

3. 所属（団体名）

4. 役職

5. メールアドレス *

※誤入力防止のため、コピー＆ペースト等の対応をお願い致します。

20230125 20:49 [官民連携まちづくりDAY2023] 参加申込フォーム

6. 電話番号 *

7. 個人情報取扱いに関して *

ご入力いただいた内容は、本イベントの参加案内のためにだけに使用させていただきます。
同意の上、フォームの送信をお願いします。

同意する

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。


 Microsoft Forms

図 3.1-8 参加申込フォームの項目と表示画面(PC)

3.1.6 Slido による事前投票

各登壇者に最も聞きたい項目(キーワード)を slido にて事前に投票形式にて募集した。

募集期間	投票人数
令和5年1月17日(火)～令和5年1月24日(火)	215人

表 3.1-6 キーワード項目および投票結果(1/2)

登壇者	項目(キーワード)	集票率(%)
足立 基浩 教授	With コロナのまちづくり	10
	リノベーション型のまちづくり	28
	ローカルファーストのまちづくり	28
	都市再生推進法人	16
	まちづくり会社	23
	エリアマネジメントと負担金	38
	空地・空き家の利用活用	22
	センチメンタル価値(地域への愛着の価値)	20
	まちづくりのデータ活用と RESAS	18
	まちづくりとデジタル化	28
	竹ヶ原 啓介 氏	まちづくり/エリアマネジメントと金融
ESG 投資(金融)		8
非財務情報(無形資産)		4
ESG 地域金融(地域金融機関と ESG)		9
事業性評価		23
地域経済循環		34
リスクと機会		9
地域経済のトランジション		12
脱炭素先行地域		14
不動産分野における社会課題と ESG		15

表 3.1-7 キーワード項目 (2/2)

登壇者	項目 (キーワード)	集票率 (%)
鈴木 美央 氏	地域のお金が外に流れないマーケット	32
	場所としての商店街の可能性	47
	関わり方のデザイン	32
	マーケットが作るコミュニティの特徴	27
	行政施策としてのマーケット	27
内川 亜紀 氏	公共空間の利活用	44
	まちのコミュニティ活動	25
	まちの将来像とそれを実現していく仕組み	37
	建物更新によって生み出される都市空間活用スキーム	22
	まちづくりを持続的に進めていく体制の再構築	51
山本 卓也 氏	地域社会の持続可能性を意識したファイナンス例	41
	地域資源を活用した地域活性化	52
	まちづくりイベントとの連携	35
	ESG (環境、社会、ガバナンス) に着目した事業性評価	18
	インパクトファイナンスの取り組み	13

3.2 イベント当日の運営

3.2.1 プログラムの概要

イベントプログラム・タイムテーブルは以下のとおりである。

表 3.2-1 タイムスケジュール

時間	内容	登壇者
13:30	開場(ウェビナー入室)	
14:00	(1)開会	国土交通省都市局まちづくり推進課官民連携推進室企画専門官/ 椎名 大介 様
14:00~14:05	(2)開会挨拶	国土交通省都市局 局長/ 天河 宏文 様
14:05~14:35 (30分)	(3)インプットトーク① 「変化する金融と事業機会としてのまちづくりとの連携」	(株)日本政策投資銀行 設備投資研究所エグゼクティブフェロー(兼副所長)/ 竹ヶ原 啓介 様
14:35~15:05 (30分)	(4)インプットトーク② 「まちづくりと経済再生-ローカルファースト型の実践-」	和歌山大学副学長兼経済学部経済学科教授/ 足立 基浩 様
15:05~15:20 (15分)	(5)休憩	
15:20~16:30 (70分)	(6)セッション	ファシリテーター:足立 基浩 様 <登壇者> O+Architecture 合同会社代表 東京理科大学経営学部講師/ 鈴木 美央 様 札幌駅前通まちづくり(株) 取締役統括マネージャー/ 内川 亜紀 様 (株)滋賀銀行 総合企画部サステナブル戦略室 サステナブル推進グループ長/ 山本 卓也 様 (株)日本政策投資銀行 設備投資研究所 エグゼクティブフェロー(兼副所長)/ 竹ヶ原 啓介 様
16:30~16:40 (10分)	(7)民都機構より情報提供	一般財団法人民間都市開発推進機構 まちづくり支部 第2課/ 檜館 孝志 様
16:40~16:55 (15分)	(8)全体総括	全国エリアマネジメントネットワーク 事務局次長/ 長谷川 隆三 様 一般財団法人民間都市開発推進機構 常務理事/ 渡邊 浩司 様
16:55~17:00 (5分)	(9)閉会挨拶	全国エリアマネジメントネットワーク会長/ 小林 重敬 様
17:00	終了/アンケート	

3.2.2 参加者

事前申込数及び当日の参加者数は、以下のとおりである。

表 3.2-2 事前申込及び当日参加者数

項目	人数
事前申込者	※693 人
当日参加者	488 人

※追加申込(申込募集期間以降)を含む

3.2.3 イベント運営・配信方法

参加者は全員オンラインで参加した。登壇者及び運営者は会場(DMO 丸の内東京)に参集して、撮影・配信を実施した。感染症対策として、会場では適切な換気を行うとともに登壇者間は 1m以上の間隔を保つなどの対策を取った。

会場のレイアウト・設営状況の詳細は以下のとおりである。

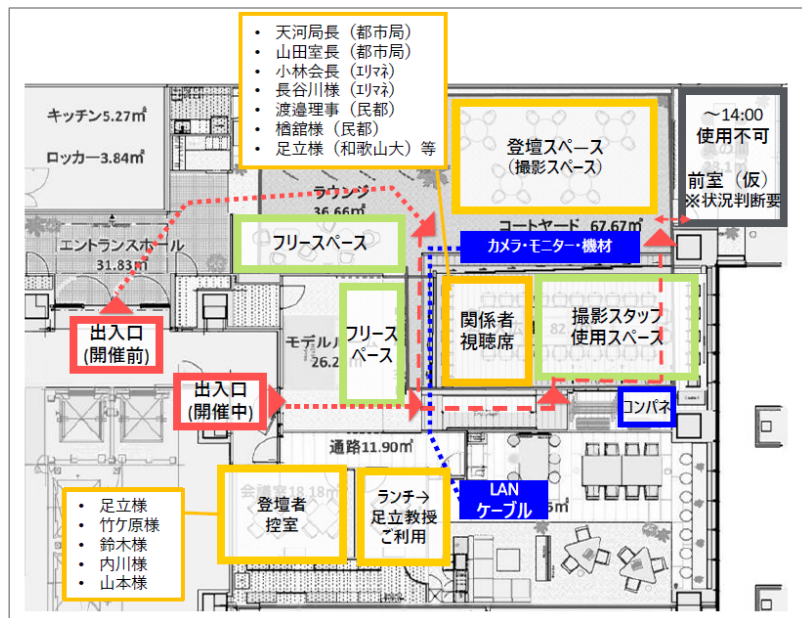


図 3.2-1 会場レイアウト



図 3.2-2 会場の様子(リハーサル時)

14:05～14:35_「(3)インプットーク①」

時間	内容	登壇者
14:00	(1) 開会	国交省 椎名様
14:00～14:05	(2) 開会挨拶	国交省 天河様
14:05～14:35	(3) インプットーク①	DBJ 竹ケ原様
14:35～15:05	(4) インプットーク②	和歌山大学 足立様
15:05～15:20	(5) 休憩	
15:20～16:30	(6) セッション	和歌山大学 足立様、O+Architecture 鈴木様、札幌駅前通りまちづくり 内川様、滋賀銀行 山本様、DBJ 竹ケ原様
16:30～16:40	(7) 民都機構より情報提供	民都機構 橋館様
16:40～16:55	(8) 全体総括	全国ITマ? 長谷川様(、民都機構 渡邊様)
16:55～17:00	(9) 閉会挨拶	全国ITマ? 小林会長

主な進行の流れ

- 14:05～14:35_「(3)インプットーク①」
 - 【インプットーク①】DBJ 竹ケ原様：事務局合図の元、天河様と入れ替わり、④へ移動
 - 【司会】国交省 椎名様：開始アナウンス
 - 【インプットーク①】DBJ 竹ケ原様：開始アナウンスの元、インプットーク(25分程度)
 - 【司会】国交省 椎名様：終了アナウンス
 - 【インプットーク①】DBJ 竹ケ原様：終了アナウンスの元、退場
- 14:25頃(仮) 登壇者スタンバイ
 - 【インプットーク②】和歌山大 足立様：上手(司会者側)にてマイク装着・待機



14:05～15:05頃_「(4)インプットーク②」～「(5)休憩」入り

時間	内容	登壇者
14:00	(1) 開会	国交省 椎名様
14:00～14:05	(2) 開会挨拶	国交省 天河様
14:05～14:35	(3) インプットーク①	DBJ 竹ケ原様
14:35～15:05	(4) インプットーク②	和歌山大学 足立様
15:05～15:20	(5) 休憩	
15:20～16:30	(6) セッション	和歌山大学 足立様、O+Architecture 鈴木様、札幌駅前通りまちづくり 内川様、滋賀銀行 山本様、DBJ 竹ケ原様
16:30～16:40	(7) 民都機構より情報提供	民都機構 橋館様
16:40～16:55	(8) 全体総括	全国ITマ? 長谷川様(、民都機構 渡邊様)
16:55～17:00	(9) 閉会挨拶	全国ITマ? 小林会長

主な進行の流れ

- 14:35～15:05_「(4)インプットーク②」
 - 【インプットーク②】和歌山大 足立様：事務局合図の元、竹ケ原様と入れ替わり、④へ移動
 - 【司会】国交省 椎名様：開始アナウンス
 - 【インプットーク②】和歌山大 足立様：開始アナウンスの元、インプットーク(25分程度)
 - 【司会】国交省 椎名様：終了アナウンス
 - 【インプットーク②】和歌山大 足立様：舞台上で待機
- 15:05～15:20_「(5)休憩」入り
 - 【司会】国交省 椎名様：休憩開始アナウンス
 - カメラから画像へ切り替え、休憩(15分予定/状況次第)



図 3.2-3 インプットーク時の登壇者レイアウト

15:20～16:30頃「(6)セッション」

時間	内容	登壇者
14:00	(1) 開会	国交省 椎名様
14:00～14:05	(2) 開会挨拶	国交省 天河様
14:05～14:35	(3) インアットーク①	DBJ 竹ヶ原様
14:35～15:05	(4) インアットーク②	和歌山大学 足立様
15:05～15:20	(5) 休憩	
15:20～16:30	(6) セッション	和歌山大学 足立様、O+Architecture 鈴木様、札幌駅前通りまちづくり 内川様、滋賀銀行 山本様、DBJ 竹ヶ原様
16:30～16:40	(7) 民都機構より情報提供	民都機構 檜館様
16:40～16:55	(8) 全体総括	全国IRIIR 長谷川様(、民都機構 渡邊様)
16:55～17:00	(9) 閉会挨拶	全国IRIIR 小林会長

主な進行の流れ

- 15:20～16:30「(6)セッション」
 - 【司会】国交省_椎名様：開始アナウンス
 - 【ファンリ】和歌山大_足立様：アナウンスの元、進行開始
 - 【司会】国交省_椎名様：終了アナウンス
 - 【ファンリ・登壇】退場：事務局合図の元、退場
- 16:20頃(仮)登壇者スタンバイ
 - 【情報提供】民都機構_檜館様：上手（司会者側）にてマイク装着・待機



図 3.2-4 セッション時の登壇者レイアウト

3.2.4 当日の会場の様子

当日の会場の様子は以下のとおり。

	
<p>(会場レイアウト)</p>	<p>開会</p>
	
<p>インプットーク①</p>	<p>インプットーク②</p>
	
<p>セッション</p>	<p>民都機構からの情報提供</p>
	
<p>全体統括</p>	<p>閉会</p>

図 3.2-5 各プログラム進行中の様子

3.2.5 視聴画面の様子

当日の配信画面・slido 画面は以下のとおりである。

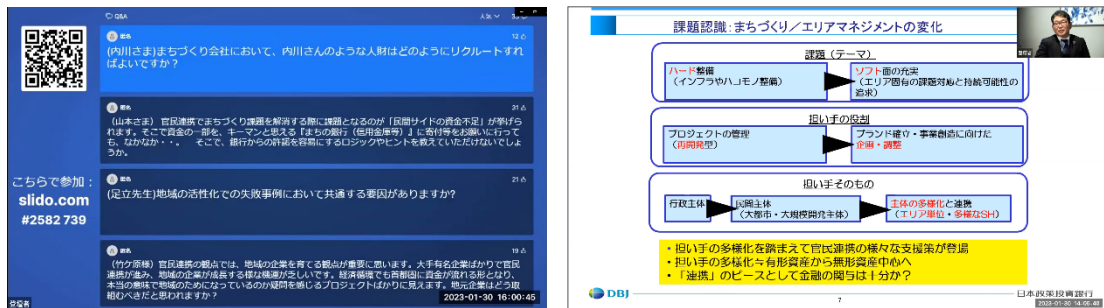


図 3.2-6 視聴者画面

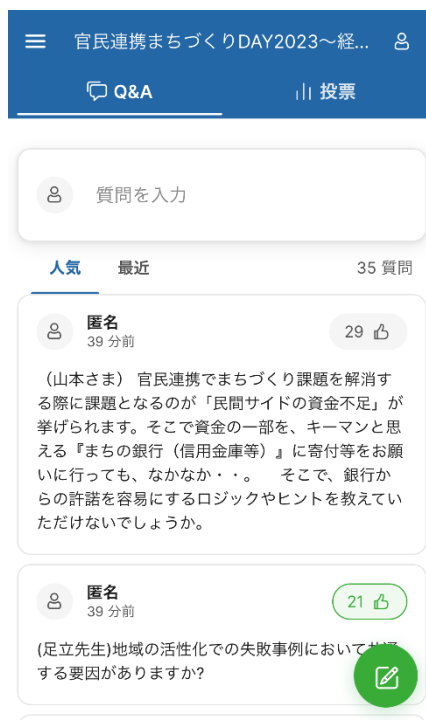


図 3.2-7 Slido への参加画面(携帯)

3.2.6 講演資料

各プログラムの発表資料は以下のとおりである。

(1) インプットトーク①「変化する金融と事業機会としてのまちづくりとの連携」(竹ヶ原 啓介 氏)

2023年1月30日

官民連携まちづくりDAY 2023


変化する金融と事業機会としてのまちづくりとの連携


 株式会社日本政策投資銀行
 設備投資研究所 エグゼクティブフェロー 竹ヶ原啓介


日本政策投資銀行


本日のご説明内容

- はじめに(問題意識)
- 金融の変化～ESG投資の主流化
- 地域金融への波及
- まちづくりへの接続


日本政策投資銀行

Section 1

【はじめに】


日本政策投資銀行

課題認識: まちづくり/エリアマネジメントの変化

課題(テーマ)

ハード整備
(インフラやハコモ整備)

ソフト面の充実
(エリア固有の課題対応と持続可能性の追求)

担い手の役割

プロジェクトの管理
(再開発型)

ブランド確立・事業創造に向けた
企画・調整


担い手のもの

行政主体

民間主体
(大都市・大規模開発主体)

主体の多様化と連携
(エリア単位・多様なSH)

- 担い手の多様化を踏まえて官民連携の様々な支援策が登場
- 担い手の多様化⇔有形資産から無形資産中心へ
- 「連携」のピースとして金融の関与は十分か?


日本政策投資銀行

Section 2

【ESG投資の主流化】


日本政策投資銀行


拡大するサステナブル投資残高(10億\$)

REGION	2016	2018	2020
Europe*	12,040	14,075	12,017
United States	8,723	11,995	17,081
Canada	1,086	1,699	2,423
Australasia*	516	734	906
Japan	474	2,180	2,874
Total (USD billions)	22,839	30,683	35,301

総運用資産に占める割合(%)

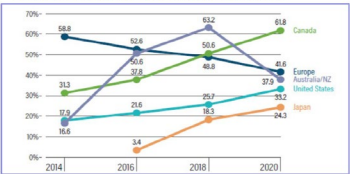
	27.9	33.4	35.9
--	------	------	------

(出所) Global Sustainable Investment Alliance "Global Sustainable Investment Review (GSIR) 2020"


日本政策投資銀行


ESG投資のメインストリーム化

サステナブル投資が全体に占める割合の推移

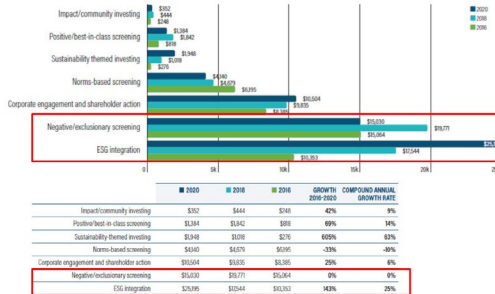


REGION	2014	2016	2018	2020
Europe*	58.8%	52.6%	48.8%	41.6%
United States	31.3%	21.6%	25.7%	33.2%
Canada	17.9%	37.8%	50.6%	61.8%
Australasia*	16.6%	50.6%	63.2%	37.9%
Japan	3.4%	18.3%	24.3%	

(出所) Global Sustainable Investment Alliance "Global Sustainable Investment Review (GSIR) 2020"



日本政策投資銀行

「ESG統合型」が主軸に



	2020	2018	2016	GROWTH RATE 2018-2020	COMPOUND ANNUAL GROWTH RATE
Impact/Community investing	\$352	\$444	\$361	42%	9%
Positive/best-in-class screening	\$1,384	\$1,452	\$887	60%	14%
Sustainability-themed investing	\$1,348	\$1,218	\$275	665%	83%
Norms-based screening	\$430	\$475	\$695	-33%	-40%
Corporate engagement and shareholder action	\$1,034	\$1,018	\$1,381	25%	6%
Negative/exclusionary screening	\$5,030	\$5,771	\$5,854	0%	0%
ESG integration	\$2,076	\$2,264	\$1,763	142%	29%

(出所) Global Sustainable Investment Alliance "Global Sustainable Investment Review (GSIR) 2020"


日本政策投資銀行

トレンド: ESG投資のメインストリーム化

- 金融危機を契機に、過度のショートターミズム（短期主義）が投資家、企業双方にもたらす弊害に対する認識が拡大。
- 短期間の裁定取引に対するアンチテーゼとして、企業の長期的な成長に着目し、これにコミットする投資家（長期投資家）の重要性を再確認する動きが活性化。
- 投資家にとって、企業の長期的な成長にコミットするために必要な情報として、また、企業にとって、こうした長期投資家を惹きつけるために重要な情報として、非財務情報（ESG情報）が位置づけられつつある。この結果、ESG投資のメインストリーム化が進んでいる。

DBJ 日本政策投資銀行

財務パフォーマンスと非財務情報

実績分析・短期予想

財務パフォーマンス

長期予測

財務パフォーマンスを生み出す諸元

- ・イノベーション
- ・技能伝承
- ・知財戦略
- ・人材育成
- ・環境配慮 (E)
- ・人権問題 (S)
- ・企業統治 (G)
- ・働き方改革
- など...

DBJ 日本政策投資銀行

トレンド: ESG投資への関心の高まりと課題

- 2014/2の日本版Stewardship Codeを機に、これまでSRI/ESG投資に熱心とはいえなかった日本の機関投資家の間でも、非財務情報への関心が高まった。
- 2015/9 世界最大の機関投資家（アセットオーナー）であるGPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）がPRI（責任投資原則）に署名し、ESGを重視する姿勢を明らかにしてから、上記の流れが一気に加速。
- ESG Ratingの影響力が拡大していることに加え、機関投資家も独自のESG評価に基づくエンゲージメントを強化している。情報開示の充実を図ることや投資家との対話の充実など、ESG情報に関するコミュニケーションの巧拙が安定株主の確保や企業評価面に影響を与える可能性が高まっている。

DBJ 日本政策投資銀行

日本のESG投資残高の推移

2014年までは個人投資家向け金融商品残高のみ、2015年より国内機関投資家による投資残高の開示を開始

DBJ 日本政策投資銀行

情報開示の変化

■ 伊藤レポート3.0「価値協創ガイダンス2.0」(2022/8)

DBJ 日本政策投資銀行

ESG投資家が企業に求める情報とは

- ◆ 「ビジネスモデル」を通じた競争優位の説明
 - ・バリューチェーンにおける差別化
 - ・差別化を支える経営資源・無形資産・ステークホルダーは何か？
 - ・その強化のためにどのような投資（獲得、資源配分、育成等）が必要か？
- ◆ 「ビジネスモデル」の持続可能性
 - ・最大の脅威は、ビジネスモデルの差別化要素（経営資源・無形資産・ステークホルダーとの関係）が維持できなくなること
 - ・中長期的に社会が直面する重要な社会課題を認識し、自社の成長戦略に組み込んでいるというロジックが必要
 - ・自社のビジネスモデルの持続可能性／戦略の実現可能性に大きな影響を及ぼす「社会課題」をどのように説明するか？

稼ぐ力

SDGsの活用!

マテリアリティ

DBJ 日本政策投資銀行

ESG投資とSDGs

ESG投資とSDGsの関係

社会的な課題解決が事業機会と投資機会を生む

投資機会増

ESG投資

事業機会増

GPIF

運用会社

企業

2015年9月署名

ESGの推進

持続可能な社会

共通価値創造 (CSV)

買回

RI

Principles for Responsible Investment

SDGs

（出所）GPIF <https://www.gpif.go.jp/investment/eng/ib>

DBJ 日本政策投資銀行

Section 3

【地域経済・金融への波及】

DBJ 日本政策投資銀行

まとめ

- まちづくりと金融の関係性が改めて問われる背景には、少子高齢化など経済社会環境の変化を背景に、まちづくり/エリアマネジメント業務が、従来のハード整備と管理を中心とするものから、企画調整型のソフトヘフトしてきた事情がある。主体がエリアに密着して多様化するれば、地域課題の解決により直接的に貢献しう一方、収益構造の変化や無形資産主体の構成などから、資金調達が制約要因になることが懸念される。これまで、まちづくり/エリアマネジメントの多様性を踏まえて、官民連携を促進する様々な施策が講じられてきたが、金融との接続という視点は希薄だった可能性がある。
- 他方、金融市場では、投資先の長期的な成長を見極めるために、非財務情報に着目するESG投資の主流化が進んでいる。不確実な長期を展望してビジネスモデルの持続可能性を示すべく、社会課題の解決と成長戦略を同期させる「価値創造ストーリー」を主題に投資家と企業が対話するESG投資は、伝統的に地域経済を支えてきた地域金融（間接金融）の役割とも親和的であり、現在、事業性評価を強化する一貫として、地域金融機関にも波及しつつある。こうした金融の変化は、まちづくり/エリアマネジメントが直面する上記の課題にも影響を与える。
- まちづくり/エリアマネジメントが地域経済に果たす役割（機会としての認識）や、にぎわいや事業創造に向けた企画・立案機能を担う人的資本（無形資産）の可視化などを通じて、主流化・多様化が進むESG金融と接続することが出来れば、資金調達を巡る上記の課題解決につながる期待できる。国土交通省の不動産S評価軸の検討など、政府の一連の政策もこの方向に向かっており、今後の進展が期待される。



24

日本政策投資銀行

お問い合わせ先

ご静聴ありがとうございました

ご質問、ご相談等がございましたら、何なりと下記連絡先にお問い合わせください。

連絡先

株式会社日本政策投資銀行 設備投資研究所 (03-3244-1890)

資料種 (C) Development Bank of Japan Inc. 2022
当資料は、株式会社日本政策投資銀行 (DBJ) により作成されたものです。

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引の勧誘を目的とするものではありません。本資料は銀行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はかかる正確性・信頼性を保証するものではありません。本資料の内容に関しましては、ご質問の応答ではお答えできません。

本資料は著作権であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を複製・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡ください。著作権者の同意なく複製・複製すること、必ずしも日本政策投資銀行に通知してはなりません。



25

日本政策投資銀行

(2) インプットーク②「まちづくりと経済再生-ローカルファースト型の実践-」(足立 基浩 氏)

2023年1月30日
「まちづくりと経済再生-ローカルファースト型の実践-」

和歌山大学
足立基浩

ローカルファーストとは何か？

- ローカルファーストとは、「**地元での消費重視**」「**地域内流通・資金循環重視**」のまちづくりのことである。地域のもを住民が積極的に買うことで地域内にお金循環し、雇用も生まれる。
- 近隣消費、近隣観光、近隣生産(Withコロナの時代に)。

和歌山県の事例：なぜローカルファーストが必要か

- 0.6%経済の和歌山県(全国のGDPの0.6%程度)。600億円の需要が不足。
- 重回帰分析の結果、「温泉宿泊者数」「公共事業」「**第3次産業**」がGDP上昇に有意に貢献。
- 県外消費の3%を内需に回すことで格差が是正し、成長軌道に乗る。
→ローカルファースト型消費の重要性

地元での消費の経済学的意義

「1%消費のローカルファースト運動」

計算例

- 例えば、人口1万人の町の場合。
- この町の平均所得が200万円だった場合、この平均所得の1% (つまり2万円分)を地域内での消費に回すとした場合、ざっと2億円が地元経済で還流するという計算。
- そして、この地域に残ったお金を人材投資等に回した場合、雇用100人分が生まれるという計算だ。
- 「地消地産」も重要

・ 地方の活性化で重要なのは「地域内での消費の促進」であるという。つまり、**地域外に出ていくお金を抑制しつつ、地元民が受け取るお金を増やす必要がある**という。

・ 藤谷浩介さん(日本総合研究所調査部主席研究員)

地元での消費の経済学的意義

「1%消費のローカルファースト運動」

計算例

- 例えば、人口1万人の町の場合。
- この町の平均所得が200万円だった場合、この平均所得の1% (つまり2万円分)を地域内での消費に回すとした場合、ざっと2億円が地元経済で還流するという計算。
- そして、この地域に残ったお金を人材投資等に回した場合、雇用100人分が生まれるという計算だ。
- 「地消地産」も重要

・ 地方の活性化で重要なのは「地域内での消費の促進」であるという。つまり、**地域外に出ていくお金を抑制しつつ、地元民が受け取るお金を増やす必要がある**という。

・ 藤谷浩介さん(日本総合研究所調査部主席研究員)

事例1：茅ヶ崎方式 ローカルファーストが生まれたまち

地元へのこだわり

- 地元レストラン(なんどき牧場)
- 地元野菜にこだわった「湘南野菜のビュッス」なども製造販売している。その他、平塚市、茅ヶ崎市場で加工された湘南ちりめんなども人気商品だ。
- 毎週土曜日には茅ヶ崎海辺の朝市なども実施され、多くの人でにぎわっている。
- 2001年以降、隔週土曜日の午前8時から9時までの時間に、茅ヶ崎公園球場東側駐車場付近で開催されている。2008年より毎週土曜日に開催しているが、15店ほどが、軽トラックの荷台に新鮮な野菜やお花を積んで販売している。地元を感じる場所である。

テレビ東京 テレビプラスより
<https://www.tv-tokyo.co.jp/ehnic/travel/entry/2018/011798.html>



サザンオールスターのサーフィンの似合う観光地ですが、地元商品もいっぱい。

地元産の商品をいっぱい作っています。




事例2 佐久市岩村田商店街 おかず市場

2003年よりおかず市場開設

- 岩村田地域を中心に、地域に根ざして地産の物を使用し、**安全安心をモットーに地元食材の惣菜開発を進めている**。
- 手づくり、手仕事、技の店としておいしい惣菜を食卓にご提供できるよう、50種類以上を毎日手づくりにてご用意している。



おいでなん処、寺子屋塾、みんなの市場

2002年3月からスタート

- 空き店舗を利用して地域の人々が交流するスペースを設置。
- その他、岩村田本町商店街では、**チャレンジショップ(2004年)**、**寺子屋塾(2009年)**、**ミニスーパーみんなの広場**を設置している(2011年)。



8

事例3 若者とローカルファースト

宮崎市(人口約40万人)の事例(2013年から2022年まで、毎年実施)

近年では、高校生がローカル経済に貢献
高校生まちづくり会議で様々なアイデアが・・・

高校生を主体とした戦略で4つの提案が出されている・・・

9

案：高校生商店街

内容別、高校生商店街

事業	内容の概要	実施の経緯	スタートの経緯	目指す効果
実行委員会 運営費 商業高校 商業高校 商業高校 行政 場所の確保の責任者 一応、商業高校、行政 高校生(販売業務担当)	空き店舗を活用した高校生 まちづくり 高校生オリジナル商品を 販売(数度の高いものを生 産) *年3回(7月、10月、2月) *1日10時～17時 *前年などの他のイベントと 同時開催	場所(空き店舗) *市庁舎の協力確保 *机、イス一箇店舗から開 演 *内装一高校の美術部 *備品 *商業高校一仕入れタダ *商業高校一仕入れ自己 負担 *販経費を除き、宮崎高校 運営基金を拠出する *2次回のイベントに活用	192号 5期スタート 1期 1回実行委員会(9月) 2期 1回高校生作品展(7月) 3期 1回実行委員会(9月) 4期 1回高校生作品展(10月) 5期 1回実行委員会(12月) 6期 1回高校生作品展(2月) 7期 1回実行委員会(3月)	*毎月1000人量販予定 *高校生など若い人達が 集まる *商業高校・商業高校など 高校生とのつながりによる高 校オリジナル商品の販売 *商業高校を巻き込む *高校生を巻き込むブランド の確立(一歩一歩)



10

大学生性の場合 若者にローカルを好きになってもらう・・・
カムバック サーモン計画

- 和歌山大学経済学部足立ゼミでは過去10年連続でぶらくり丁商店街でカフェ経営を実施・・・

- 学生たちがまちなかで地域再生に尽力することで市民・地権者の皆さんに「この場所の持つ意味(Sense of Place)」を再び意識してもらえたら・・・

11

2013年11月には学生が結婚式を商店街で企画(和歌山市)・・・

商店街 元気でHappy



12

最近、店のリノベーションを行いました。
しかも、代金ゼロ円・・・



13

売上報告

カフェの売上

総売上 87,450
総費用 44,325
純利益 43,125

店頭販売売上

総売上 70,250
総費用 56,200
純利益 14,050



14

小学生も巻き込む 小学校と連携 ローカルファースト運動

2022年1月22日、和歌山商工会議所青年部(略称YEG、Young Entrepreneurs Group)主催のオンラインでのシンポジウム「ローカルファーストが未来をつくる」が和歌山市内で開催された。

和歌山市立有功(いさお)東小学校は、「バイ(Buy)ローカル(地元のものを積極的に買おう)」に関する授業を既に実施している。



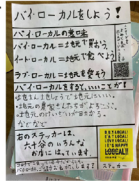
有功東小学校 三年風組

15

Buy Localのステッカー作りも

- この活動に参加した同校3年風組の子供たちは、地域などを学ぶ総合学習の授業の中で「地元を大事に」「もっと地元を好きになろう」とテーマに地元和歌山県六十谷地区周辺のお店を訪ね、地域のものを、地域で買うというの意味。それは、商品だけでなく、地域の皆さんの息遣いにも触れる機会を得ることでもある。
- また、子どもたちは地元のお店を知れば知るほど、宣伝したくなったようだ。YEGメンバーなどの応援もあって、おしやれな黄色をベースとしたステッカーを100六十谷駅や、地元周辺のお店で貼ってもらい、また、自分で作成したポスターも掲示して頂くこととなった。

ステッカーポスター大作戦!



16

ローカルファースト+エリアマネジメント

- 地域志向のエリアマネジメント(民間主導)が注目されている。
- 地域(ローカル)で資金循環をさせることで、経済効果が発生し、その効果が地域内にとどまるために**共鳴効果**が発生することになる。
- ローカルファーストの理念を実現させるのが「エリアマネジメント」ともいえよう。
- 以下**事例紹介**

17

事例4 愛知県 豊田市の場合

ローカル型 エリアマネジメント団体 居住、還流人口を上昇させる

- 都市再生推進法人を2018年に設立。都市型ホテル、スポーツクラブ、商業サービス、飲食及び住居(タワーマンション)で構成された駅前再開発事業(期間は2000年から2007年までの7年間)。
- 総費用は約181億(補助金名称は市街地再開発事業)。また、タワーマンションの建設を行ったところ**132戸**が埋まり、居住人口は増加した。
- 一般社団法人TCCM(エリアマネジメント活動の実施主体)である。駅前のにぎわい創出事業などを始め、道路の利用などを始めたところ、来場者数はさらに増え、その結果、この地域では**42.1%の人口増となった(2018年/2006年比較)**。豊田市の中心エリアの価値の向上に貢献している。



18

事例5 岩手県大船渡市の実践

地域でお金が還流するローカルファースト型まちづくり

復興拠点=定期借地権

地域のお金を地域で回す仕組み

東日本大震災で大船渡市の沿岸部の多くが被災(2011年)

山側地区と海側地区に分けて復興計画(2014年から16年)

「津波復興拠点整備事業」を実施。この地区について「9つ」の街区として整備。

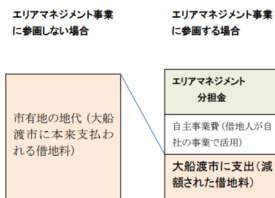
事業用定期借地権制度(期間20年から40年)を用いて土地を市内の業者等(その多くは既存商店街や事業者)の再建地区とした。



19

商店街→土地を借りる→地代割引→割引された一部をまちづくり りに→ローカルでお金が循環

大船渡市のエリアマネジメント分租金制度



出典：森記念財団 2022年度(第2回)エリアマネジメント制度小委員会 株式会社キャンセン大船渡資料参照。

20

事例4: まちづくり福井

官民連携で誰もが利用できる「場」の提供を実施

官民連携

- ハード整備は主に行政が担当し、その利用や賑わい創出についてはまちづくり福井株式会社が担当している。
- 足羽川河川敷地の一部の占用許可を福井県から取得。
- これにより、団体や個人の方が堤防や河川敷にテーブルや屋台などを設置することが可能に。
- ローカルファーストの実現に、むけての橋渡し役。近隣観光を刺激し経済効果を実現。

足羽川(あすわがわ)テラスの整備



足羽川AQUAテラス

21

ローカルファースト型のまちづくりのステップアップ

- もっと地元で買い物しましょう。
- 夢をもっと語りましょう。
- 「具体的な目標づくり」→「小さな成功例作り」→「大きな目標づくり」→「大きな成功体験へ」
- (そして)エリアマネジメント団体と組みましょう。

「孫の世代にも残せるようなまちづくり」を目指して!

22

ご清聴ありがとうございました。



23

(3) セッション 自己紹介

1) 「まちづくり DAY 2023.1.30」(鈴木 美央 氏)

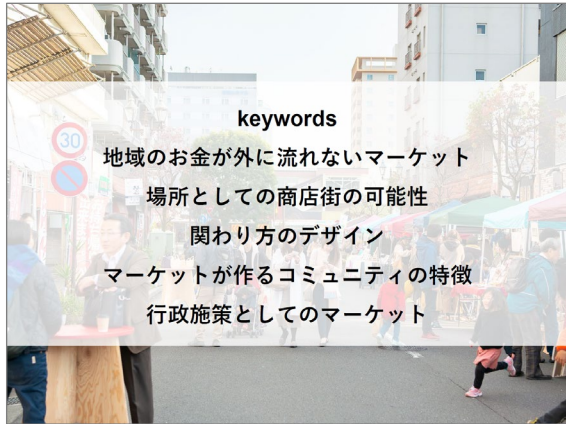


O + Architecture Ltd. (オープラスアーキテクチャー合同会社) 代表
博士 (工学) 鈴木 美央

兵庫県神戸市出身
2006年：早稲田大学理工学部建築学科卒業
2006-2011年：Foreign Office Architects Ltd. (英国)勤務
2011-2012年：慶應義塾大学理工学部勤務
2013-2016年：慶應義塾大学理工学部研究科後期博士課程
2016年-：O + Architecture Ltd. 代表社員
2021年-：東京理科大学経営学部国際デザイン経営学科 講師

専門
建築意匠設計、公共空間活用、公共施設企画・コンセプト策定、
マーケット、購買行動とまち、親子の居場所

著書
「マーケットでまちを変える 人が集まる公共空間のつくり方」
学芸出版社、第九回不動産協会賞受賞

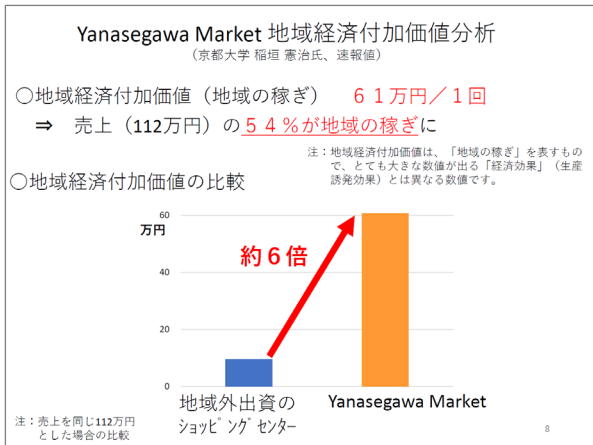


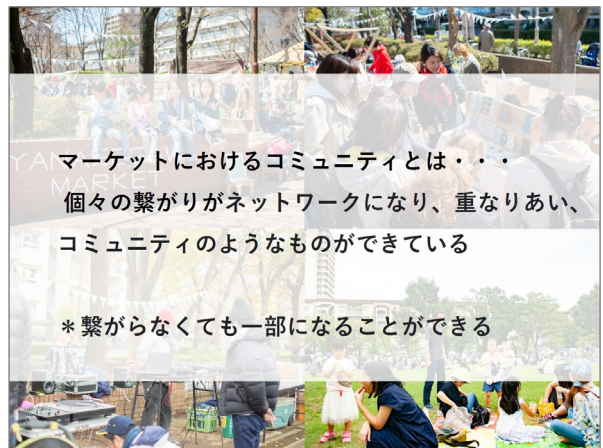
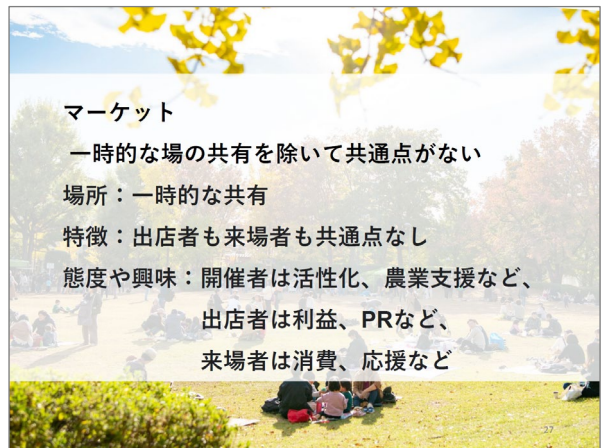
keywords
地域のお金が外に流れないマーケット
場所としての商店街の可能性
関わり方のデザイン
マーケットが作るコミュニティの特徴
行政施策としてのマーケット



keywords
地域のお金が外に流れないマーケット
場所としての商店街の可能性
関わり方のデザイン
マーケットが作るコミュニティの特徴
行政施策としてのマーケット







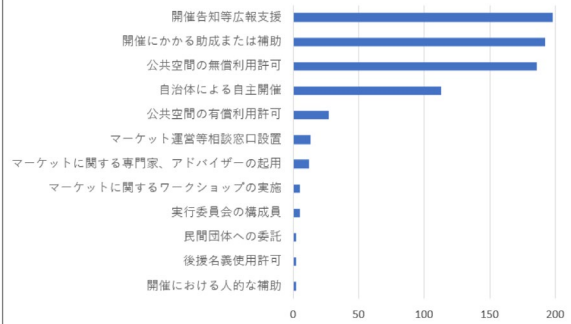
自治体として、現在までに屋外仮設マーケット運営・支援等関連業務を行ったことがある



■はい ■いいえ ■分からない ■未回答

32

自治体実施内容



33

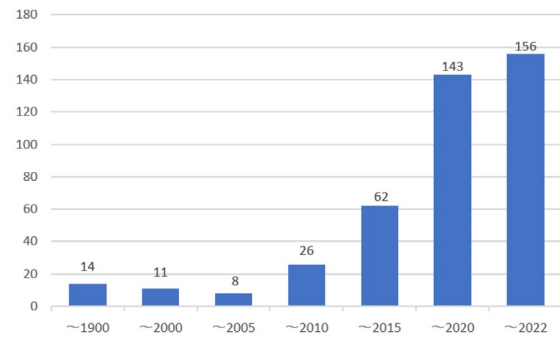


34



36

マーケット開始年度



37

2)「札幌駅前通地区のエリアマネジメントの取組について」(内川 亜紀 氏)



札幌駅前通まちづくり株式会社の概要

設立目的と組織概要

- 設立：平成22年9月17日
- 資本金：990万円（198株）
- 株主：17団体・企業

継続的なまちづくりを容易にする

- 体制：社員14名（社長含む）
- 設立目的：札幌駅前通地区を魅力ある「都心」の顔として育み、継続的かつ恒常的なにぎわいのある地域づくりを行い、都心全体の活性化に寄与する。

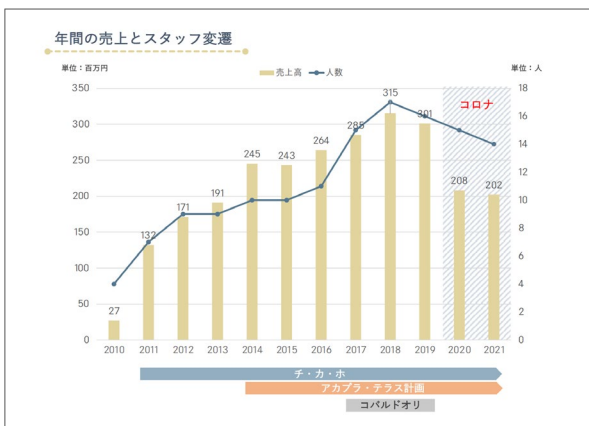
事業概要

- 札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）および札幌市北3条広場（アカブラ）の運営（指定管理）
- 広告事業
- 地下・地上の広場を活用した「にぎわいづくり」をはじめとしたまちづくり事業
- 人材育成事業
- 地域防災・防犯活動事業
- まちの美化等環境事業
- 建替計画等地区更新支援事業 等

事業費と収益の考え方

事業収益をもとに目標を実現

事業で得られた収益は、まちづくり活動に還元し、まちづくり活動を発展させる。



現在のスタッフ14名（社長、正社員12名、アルバイト1名）

- 男性：女性=1：1
- 年代構成：20代：2、30代：2、40代：4、50代：4、60代：2
- スタッフのバックグラウンド→多種多様（それぞれの得意を活かして活動を組み立てる）

札幌駅前通地区で実施している主な事業

公共空間の運営・管理

- ・「チ・カ・ホ」の指定管理
- ・「アカブラ」の指定管理

● 広場を活用した「賑わいの促進」

● 広場の活用によるまちづくり財源の創出

まちづくりの具体的な調整

- ・まちに必要な施設や空間の実現
- ・話し合いの場をつくる
- ・地域のまちづくりに必要な「合意形成の場」の支援を行う（まちづくり会議等の運営）
- ・まちの主役「ビジネスパーソン」のための環境づくり

● 地区計画の変更

● 防災計画の策定

● まちのコミュニティの促進

自主的に財源を創出し、ハード&ソフトにわたって「まちづくり」を行う

公共空間の利活用

チ・カ・ホ

- 札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）
- ・区間 地下鉄南北線大通駅～さっぽろ駅
- ・延長 約520m
- ・幅員 約20m
- ・事業年度 平成17～22年度
- ・供用開始 平成23年3月12日
- ・指定期間 平成30年4月～令和5年3月までの5年間（現任、指定管理3期目）

AKABURA

- 札幌市北3条広場（アカブラ）
- ・区間 市道北3条線の市道5丁目線から駅前までの区間
- ・延長 約100m
- ・幅員 約27m（広場利用範囲は約14m）
- ・事業年度 平成25年度
- ・供用開始 平成26年7月19日
- ・指定期間 平成30年4月～令和5年3月までの5年間（現任、指定管理2期目）

○まち会社は「管理会社」ではありません。まちを良くするための調整役、マネジメントの会社です。

○まちの中心地よい居場所や空間を作り、活性化やイノベーション等を誘導し、地域価値の向上の手助けをするのが、まち会社の仕事です。

活用のスキーム

チ・カ・ホ+アカブラは道路空間でもあり広場空間でもあります。

- 道路は、本来恒常的な空間活用、店舗の設置など、人を集める仕掛けが困難。
- 道路空間（市道）の一部を条例により広場と位置づけ。広場化により柔軟な活用が可能な空間を創出。
- さらに、兼用工作物管理協定により、広場管理者の管理区域に設定。

道路管理者
(所管：市建設局)

⇔

兼用工作物管理協定

⇔

広場管理者
(所管：市まちづくり政策局)

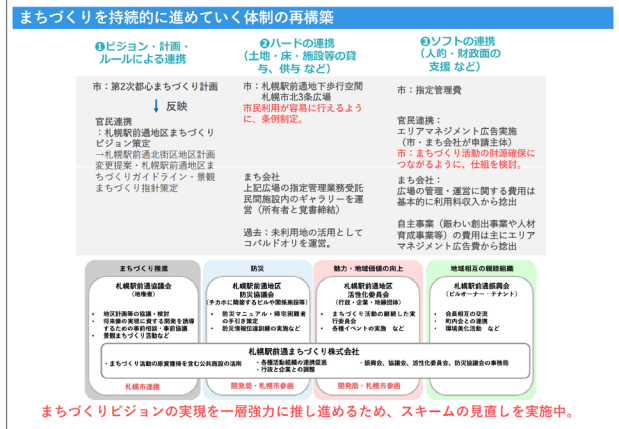
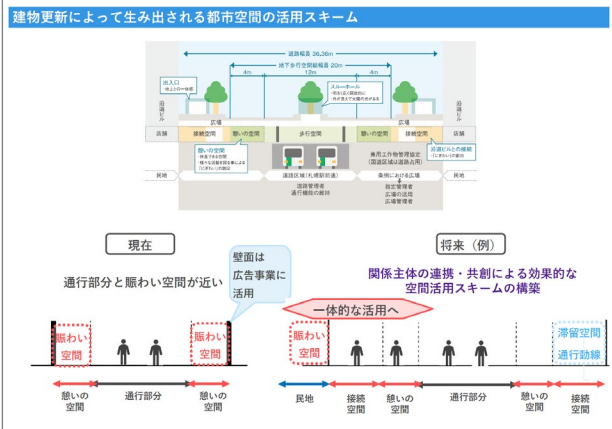
締結

指定管理者選定

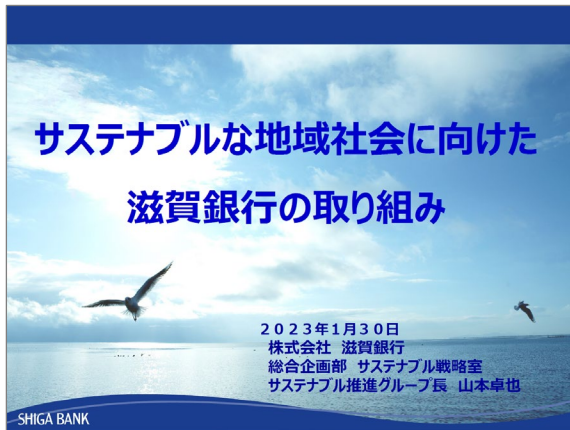
⇓

指定管理者
(まち会社)





3)「サステナブルな地域社会に向けた滋賀銀行の取り組み」(山本 卓也 氏)



滋賀銀行の概要・経営理念

社会はつくす
人には親切
自分にはきびしく
行是

◆第百三十三国立銀行
<設立趣旨>
"旧藩根柢上に金融の便を与える"
⇒「健全経営」を旨とする

◆八幡銀行
<近江商人により設立>
"貨幣流通と殖産興業の道を自ら得ん"
⇒「進取」の気風に富む

設 立	1933年（昭和8年）10月1日
歴 史	1879年（明治12年）第百三十三国立銀行設立 1881年（明治14年）八幡銀行設立 1933年（昭和8年）滋賀銀行設立
総 資 産	6兆8,483億円
従 業 員 数	1,982人（出向者除く）
店 舗 数	133か店 （うち代理店33か店、海外1か店） ※拠点数：109 か店
預 金 残 高	5兆6,623億円（稼働性預金含む）
貸 出 金 残 高	4兆2,507億円
自 己 資 本 比 率	13.40%（連結）
格 付	A+（JCR） A+（R&I）

2022年9月30日現在 2

琵琶湖と近江商人の「三方よし」

- ◆400万年以上の歴史を持つ世界有数の古代湖
- ◆61種の固有種⇒62%が絶滅危惧種
- ◆滋賀県の1/6がびわ湖、1/2が森林、460本の川が流れ込む。
- ◆京阪神1,450万人の貴重な水源
- ◆湖水の大循環:「びわ湖の深呼吸」

さまざまな現象は、世界の環境問題を象徴
琵琶湖は「地球環境の縮図」

■三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）の心■
「他国へ行商するも、総て我がことのみと思わず、
其の国一切の人を大切に、私利を貪ることなかれ」
（中村治兵衛）

世界に通じるビジネス原則
日本が誇る「サステナビリティ経営の原点」

3

地域の持続可能性に向けたファイナンス「子ども食堂」「観光産業」

出所：野洲のおっさんおにぎり食堂HP
出所：野洲のおっさんおにぎり食堂HP
出所：グランスノー東伊吹HP
出所：グランドエレメントHP

4

地域資源の活用「近江商人屋敷をリノベーション」「廃校を活用」

東近江市 株式会社NOTE
※古民家などの再生

出資 ↓ 出資 ↓
株式会社いろは ※本プロジェクト主導 ← 融資 ← 滋賀銀行

出所：NIPPONIA五福荘 近江商人の町 外村宇兵衛HP

5

地域との連携「埋もれた地域の宝を再生」「銀行店舗をライブ会場に」

Before 竹谷邸 埋もれた宝蔵

After よみがえった大石垣

滋賀銀行 八日市支店

出所：埋もれた宝蔵再生委員会
出所：びわこジャズ倶楽部
出所：滋賀銀行 八日市支店

6

SDGsコンサルティング ～SDGsを経営に落とし込み、新たな価値を発見～

- SDGsを理解
- 優先課題を決定
- 目標を設定
- 経営に統合
- 報告とコミュニケーション

- SDGsの詳細説明
- 社内の取組紹介
- 目標設定フローの解説
- ステークホルダー分析
- 経営理念、ビジョンの共有
- 優先課題への取組
- 経営管理指標の設定
- 経営課題、ビジョンの検討
- 社内定着
- 投資、外部連携等の検討
- 進捗報告
- 取組の公表
- SDGs 高品質

7

ESGに着目した「対話」にもとづく事業性評価と伴走支援

【格付CS/SS】
信用格付を開示し
財務面の課題を共有（対話ツール）

事業性評価

過去 現在 未来

財務項目 格付コミュニケーション・サービス
格付シミュレーション・サービス

非財務項目 SDGs・ESG評価

【ESG評価制度】
5段階の評価結果で
非財務面の課題を共有（対話ツール）

E環境:10項目
S社会:10項目
Gガバナンス:10項目

事業性評価に基づく伴走支援

伴走支援

本業支援 資金繰り支援

●コンサルティング
●ソリューション

SDGsコンサルティング ESGファイナンス

融資

伴走支援による事業改善

8

インパクトを重視したファイナンスへ

滋賀銀行 サステナビリティ方針

私たちは、行員「自分とまぎれく」人に貢献し、社会にたくり、を商品とする「3R事業」(環境責任)の両面を掲げ、企業価値の向上を目指すとともに、地域との対話により持続可能な社会の発展に貢献します。

1. マテリアリティ(重要課題)の特定と事業活動を通じた地域の課題解決
 滋賀銀行と地域社会の両方にとって持続可能な発展・実現につながるマテリアリティを特定し、社会的課題の解決に資する商品・サービスを開発・提供するとともに、地域社会のデジタル化を促進し、課題解決策のビジネスの創出を支援することで持続可能な社会の実現に貢献します。

2. 事業活動による社会的インパクトを重視した経営
 事業活動から生じる人や環境へのネガティブ・インパクト(悪影響)を軽減しつつ、積極的にポジティブ・インパクト(好影響)を拡大するよう努めます。金融機関が持つ強みを生かして社会的インパクトを特に重視し、お客さまとの対話を通じて持続可能な社会に向けた事業活動を展開します。

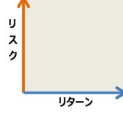
3. 地球環境の保全・再生に資するビジネスモデルの確立
 気候変動や自然破壊による地域社会の被害は、長遠にわたる影響を及ぼし、地球環境の持続可能な発展をもとめて取り組まなければならないことを理解し、脱炭素社会の実現、循環経済の構築、生物多様性の保全等に資するビジネスモデルを確立します。

4. 人権の尊重と社会との信頼関係の構築
 人権を尊重し、高い倫理観に基いた事業かつ公正な企業活動を遂行します。また、法令等を遵守し、ステークホルダーへの公平かつ透明な情報開示と双方向の対話をし、社会からの期待や要請に真摯に対応することで信頼関係を構築します。

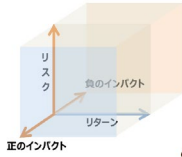
5. 自ら考え行動できる人材の育成と職場環境の整備
 SDGsや地域の社会的課題を自分ごととして捉え、自ら考え行動できる人材の育成に努めるとともに、多様な個性や働き方が尊重される「ワーク・ライフ・バランス」が実現し、一人ひとりが働く価値を最大限に発揮できる職場環境づくりも目指します。

2024年10月1日(現在)

リスク・リターンのみを
とらえた考え方



リスク・リターンに、事業がもたらす
インパクトを加えた考え方



(4) 一般財団法人民間都市開発推進機構より情報発信「民都機構によるまちづくり支援について」(檜館 孝志 氏)



民都機構によるまちづくり支援について

一般財団法人 民間都市開発推進機構
2023.1

民間都市開発推進機構【MINTO機構】とは

- 民間都市開発の推進に関する特別措置法(562法第62号)に基づき指定された一般財団法人
- 都市再生特別措置法(H14法第22号)などにに基づき、優良な民間都市開発事業に対して、国からの資金や政府保証債を活用して、出資・融資などの金融支援を行います。
- 今日まで資金面等で支援した事業は類型約1,400件、支援総額約1兆9,000億円

私たちは、まちづくりのこんなニーズにお応えします

- 規模が大きいなど、民間のみでは資金調達に難しい都市開発プロジェクトの資金を調達したい!
- 固定金利で長期間の資金を調達したい!
- 自己資金が足りないので一緒にプロジェクトに出資してほしい!
- 公的不動産を活用するプロジェクトなど、借地での事業のため担保が足りない資金を調達したい!
- 中心市街地の活性化や風情ある景観の保全などを実現したい!
- 空き家・空き店舗・古民家などの有効活用を進めたい!
- 地域に貢献するプロジェクトなどで、クラウドファンディング(ふるさと納税)を活用した事業を立ち上げたい!

MINTO機構の支援メニュー

融資	1 共同型都市再構築業務	共同事業者として長期の固定金利による資金を供給します。
	2 グリーンアセット等整備支援業務(メザニン支援業務)	主に大都市圏の大型プロジェクトにミドルリスク資金を供給します。
出資・社債取得	3 まち再生出資・社債取得業務(まち再生出資業務)	主に地方都市のプロジェクトに対して出資・社債取得による支援を行います。
	4 マネジメント型まちづくりファンド支援業務	地域金融機関と共にファンドを組成し、そのファンドから民間のまちづくり事業に出資等を行います。
	5 老朽ストック活用リノベーション等推進型まちづくりファンド支援業務	金融機関等と共にファンドを組成し、そのファンドから民間のまちづくり事業に出資等を行います。
助成	6 クラウドファンディング活用型まちづくりファンド支援業務	地方公共団体等と共に資金拠出したファンドから、クラウドファンディングを活用した民間のまちづくり事業等に助成します。
融資	7 まちなか公共空間等活用支援業務	まちなかで賑わいある交流・滞在空間を形成する事業を行う都市再生推進法人に低利資金貸付を行います。

MINTO機構の支援の特徴

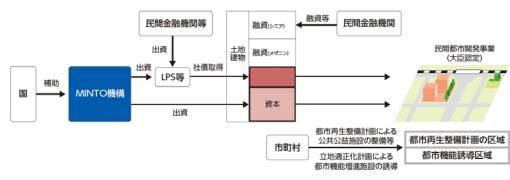
- 数百万円の小規模なものから、数百億円の大規模な支援まで、様々な場面に応じたまちづくり支援が可能です。
- 長期の資金を提供します。デットとエクイティの両方に対応可能です。
優先株、社債取得、メザニン資金、長期固定金利融資、公的体に対する低利融資、補助金など様々なメニューの中から選んでご利用いただけます。
- 民都機構が支援することにより、社会貢献など公的な位置づけが明確になります。
(特に、まち再生出資、グリーンアセット整備支援においては、対象となる事業について国土交通大臣の認定が行われます)

MINTO機構の支援の特徴

- 行政やまちづくり関係者としてしっかり連携した取組みが期待できます。
(民都機構をうまく使って行政を巻き込んだ取組みが可能です)
- 地方の活性化においては政策意義がしっかりしている事業は収益性が低くても支援検討可能です。
ただし、事業計画が持続可能なものであり、発生するリスクに責任をもって対応できる事業者の存在が重要です。
- 公的不動産の活用にあたり、金融機関からの融資を円滑に受けるためエクイティを厚くするお手伝いをします。
(公共団体の土地・建物を賃借する際は、土地等が担保にならず、エクイティを厚くする必要がある場合が多い)

まち再生出資・社債取得業務 制度概要

- 市町村が定める特定の区域において行われる優良な民間都市開発事業に対し、MINTO機構が出資又はLPS(投資事業有限責任組合)等を通じた社債取得を行うことにより、事業の立上げ支援を行います。
- 事業者に近い立場から事業の立ち上げを支援＝自己資金部分(エクイティ)への支援
- 金融機関の融資のみではカバーしきれないプロジェクトに資金拠出可能
＝公的価格が強い資本支援(国土交通大臣の認定)



「まち再生出資」業務 これまでの支援事例(用途別)

幅広い建物用途に対して支援を実施

<p>業務(事務所)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中野セントラルパーク(東京都) 緑ヶ丘ファーストタワー(宮城県) 島津 高工芸美術館(富山県) 空堀駅西口(宮城県) 船山町「お城下」パーク・イン(愛知県) 天文館シネマ(鹿児島県) 	<p>商業</p> <ul style="list-style-type: none"> オガールプラザ(岩手県) 藤田市城南第二地区第一種市街地再開発事業(長野県) 岩手町地区第一種市街地再開発事業(岩手県) 松本市地区第一種市街地再開発事業(長野県) 水見町「ひまわり」再開発事業(富山県) 永見町「ひまわり」再開発事業(富山県) 熊本城 後の集落「歴史街」(熊本県)
<p>医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州産科子ども医療センター(福岡県) 神戸産科センター(兵庫県) 山代連山山下(石川県) 	<p>宿泊</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本ホテル(静岡県) 「ONOMICHI」商業上層付(広島県)
<p>観光</p> <ul style="list-style-type: none"> 仙台ラウンドビル(宮城県) 東京スカイツリー(東京都) 	

PPP: 地方自治体が所有する土地の上に、民間事業者が建物等の整備をする事業
※説明のために簡略化しており、各施設が必ずしも該当用途にだけのもではありません。詳しくは支援事例集やホームページをご覧ください。

【支援事例】オガールプラザ



岩手県紫波町

施設の特徴

- 請願駅「紫波中央」周辺の土地開発事業で取得した町有地を、民間のアイデアと資金を導入し施設整備
- 公益施設(図書館・子育てセンター)と民間施設(産直・クリニック・飲食店等)の合築
- 公益施設の賑わいが商業にも波及するPPPの好事例として注目を集めている

事業概要

- 事業者: オガールプラザ
- 民都出資額: 600万円(優先株式)
- 土地所有者: 紫波町
- 竣工: H24年6月

建物概要

- 敷地面積: 5,640㎡
- 延床面積: 5,926㎡
- 用途: 図書館・店舗・診療所
- 規模構造: 木造2階建て(一部RC造)

【支援事例】HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE

北海道 北広島市

施設の特徴

- 「球場を核としたまちづくり」をテーマに、北海道のシンボルとなる広域交流拠点を整備する事業。
- 球場と周辺施設として宿泊、レジデンス、飲食、自然アクティビティ、温浴などの施設を段階的に整備、進化していくまちづくりを目指し、多様な世代がスポーツを通じて触れ合うコミュニティ空間を創出し、地域の活性化が期待される。

事業概要

- 事業主体: 株式会社「球」(球)ホールディングス
- 民都出資額: 39億円 (普通株式)
- 土地所有者: 北広島市
- 竣工: 2023年1月

建物概要

- 敷地面積: 約120,000㎡
- 延床面積: 117,674㎡
- 用途: 観戦席、ホテル、店舗、専有部等
- 規模構造: 地上7階地下2階鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造

マネジメント型まちづくりファンド支援業務 制度概要

金融機関とMINTO機構が連携して「まちづくりファンド」を組成し、当該ファンドから投資(出資・社債取得等)を行います。

民間事業者によるリノベーションその他のまちづくり事業を一定のエリアにおいて連鎖的に進めることで、当該エリアの価値向上を図りつつ、地域の課題解決に貢献します。

【支援事例】大洲まちづくりファンド(大洲市)

大洲市では、人口減少や、所有者の高齢化や相続等により、古民家等が空き家となって老朽化したり、取り壊されるケースが増え、観光都市としてのまちの魅力が失われつつあります。古民家、空き家、空き店舗等をリノベーション等により活用し、宿泊施設、飲食施設、物販施設等を整備・運営する事業を支援します。

ファンドの概要

ファンド設立日	2020年2月26日
組合員構成	㈱伊予銀行、民間部市開発推進機構
ファンドの所在地	愛媛県松山市
ファンドの資金規模	200百万円(㈱伊予銀行100百万円、機構100百万円)
ファンドの形態	有限責任事業組合(LLP)
ファンドの存続期間	2040年1月末日まで

対象エリア(イメージ)

本ファンドからの支援事例

施設名: NIPPONIA HOTEL 大洲 観下町
投資額: 株式会社KITA 約100万円
開業日: 2020年11月15日
業種: 観光業

※観下町に点在する歴史的な建物をリノベーションし、分散型古民家ホテルとしての運営

クラウドファンディング活用型まちづくりファンド支援業務 制度概要

活動や取組自体への共感を持つ人々の寄付等の「志ある資金」による資金拠出を受けながら、一定エリア内で自立的に行われる住民等による民間まちづくり事業を補助金で支援するものです。

クラウドファンディング活用型ファンド

クラウドファンディングを活用して行われる景観形成、まちの魅力アップなどを目的としたNPO、住民等による民間まちづくり事業に対して助成等を行う「まちづくりファンド」に資金拠出します。

共助推進型ファンド(令和4年度新規制度)

地方公共団体が、民間企業や個人等から受けた寄付やふるさと納税を財源として、都市再生のための協定(都市利便増進等)に基づく民間まちづくり事業に対して助成等を行う「まちづくりファンド」に資金拠出します。

クラウドファンディング活用型まちづくりファンド支援業務 制度概要

クラウドファンディング活用型ファンド

- 地方公共団体とMINTO機構の資金拠出により、まちづくりファンドを組成します。
- まちづくり事業者(住民等)は、クラウドファンディング^{※1}により個人等から資金提供を受けます。
- クラウドファンディングで、調達目標額(総事業費から自己資金等を除いた額)の1/2以上調達できた場合、原則としてその残額をまちづくりファンドから助成^{※2}等を行います。

※1 寄付型・購入型・貸付型・ファンド型に限る(株式型は対象外)。
※2 寄付型・ファンド型の場合はクラウドファンディングによる資金は、ファンドから仕組により支援。

クラウドファンディング活用型まちづくりファンド支援業務 制度概要

共助推進型ファンド

- 民間企業や個人等から受けた寄付やふるさと納税を財源とした地方公共団体の資金拠出と、MINTO機構の資金拠出により、まちづくりファンドを組成します。
- まちづくり事業者(住民等)が、都市利便増進協定^{※1}の地域の自主的な協定(以下、「協定」とします。)の策定に参画し、協定に事業を明記します。
- 事業を記載した協定について、協定締結後、市町村長の認定^{※2}を受けます。
- 協定に基づく事業に対し、対象事業費を上限に助成等を行います。

※1 都市利便増進協定等: 都市利便増進協定、都市再生整備実行協議協定、低利用土地活用促進協定、空地活用促進協定協定、緑地等管理協定
※2 認定は、あらかじめ協定書(協定書)に基づき協定締結後、協定に定める基本的事項(目的・区域、協定の期間・管理)が記載されていることが必要です。

【支援事例】足利市まちづくり民間活力応援ファンド(足利市)

本ファンドは、民間事業者等が行う、まちなみの保全、遊休不動産の活用、文化・芸術活動の拠点整備等の支援により、交流人口の増加、新たな賑わいの創出等、地域の活性化に向けたまちづくりの推進を目的としています。

クラウドファンディングの活用により、地域内外に事業を広く発信し、まちづくりへの参加促進、交流人口等の増加につなげることを見込んでいます。

本ファンドからの支援事例

スタートアップミュージアム事業

- 若手アーティストに活動・表現の場を提供するとともに、子供たちにも本格的なアートを学べる場を提供するための施設として、開校した小学校を工務付きの美術館として再生

ファンドの概要

支援年度	2021年(令和3年)
事業主体	足利市
助成対象地域	足利市中心市街地周辺から足利東部地区周辺
助成対象の主な事業	・まちなみの保全・景観形成に関する事業 ・遊休不動産を活用し、まちのにぎわい・コミュニティを創出する事業 ・地域の課題解決や活性化に寄与する事業等
ファンドの資金規模	10,000千円(足利市5,000千円、機構5,000千円)

【支援事例】前橋市アーバンデザインファンド(前橋市)

前橋市における民間主体のまちづくりを推進する指針「前橋市アーバンデザイン」の実現に寄与する民間のまちづくり事業を助成し、民間主体のまちづくりを持続・発展させるため、前橋市への寄付金(地域の資金)と民都機構の資金により設立したファンド。

- ファンドの概要

設立年度	2022年(令和4年)
事業主体	前橋市
助成対象地域	前橋市アーバンデザイン推進区域(前橋市中心部地区内)
主な助成対象事業	都市利便増進協定等に基づきまちなみや振興の整備によるまちなみの居心地の良さを向上させる事業等
資金規模	2億円(前橋市1億円、民都機構1億円)
- 助成対象区域
- スキーム
- 助成事業の概要

高橋山通りアーバンデザイン改修プロジェクト	高橋山通りの高質化・親水化整備等により、居心地の良い歩行者空間を創出するプロジェクト
駅前利便増進協定	駅前利便増進協定に基づき、駅前地区の活性化を図る。協定内容は、駅前地区の活性化を図るためのまちづくり事業の実施(高橋山通りの整備イメージ)

まちなか公共空間等活用支援業務 制度概要

▶ 市町村が定める「まちなかウォークアップ区域」において、カフェ等の整備と併せて広場へのベンチ設置や植栽等を行うなど、快適に交流・滞在できる空間の創出に役立つ都市開発事業を行う都市再生推進法人に、MINTO機構が長期にわたる低利貸付を行うことにより事業の円滑化を図り、「居心地が良く歩きたくなる」空間の実現に貢献します。

●まちなかウォークアップ区域
全国のまちなかを人中心の空間に転換し居心地が良く歩きたくなるまちを実現するため、市民の公共空間の整備、公共空間の活用促進、建物階層部の開放等に対する財政・税制・金融の総合的な支援を行う区域として市町村が定める区域。

官協の連携により「居心地良く歩きたくなるまちなか」を実現
予算・税制等のパッケージ支援により、公共空間の拡大、改善・利活用を促進

【スキーム】

16

【支援事例】むつ松屋商業施設ウォークアップ改修事業

本事業は閉鎖したスーパーマーケットの建物を改修のうえ、地元住民が特選のスーパーマーケットを再開し、地域の交流の場を整備する事を目的としています。民都機構は本事業を行う田名部まちづくり（株）（むつまちづくり）に対し低利貸付による金融支援を実施しました。

事業地 青森県むつ市福町1丁目203番地

公共施設等の概要
・1階部分のガラス張り化等による修繕整備
・道路に面した店舗内部のオーパススペース化
・店舗内構部に対する歩行空間の創出とベンチの設置

支援形態 まちなか公共空間等活用支援業務

事業者 都市再生推進法人 田名部まちづくり株式会社
(株式会社まちづくり株式会社)

事業実施期間 令和3年7月（着工）～令和3年10月（竣工）

支援年月日 令和3年10月28日

支援金額 42百万円

17

グリーンアセット等整備支援業務(メザニン支援業務) 制度概要

・国や市町村が定める特定の地域において行われる環境や防災に配慮した優良な民間都市開発事業に対し、メザニン資金（ローン・社債取得）を提供します。
・金融機関の提供するシニアローンと事業者等が拠出するエクイティの間に位置し、一般に調達しやすいとされる、いわゆる「ミドルリスク資金」を長期安定的に確保できます。

・都市競争力を高める大規模再開発事業（土1.0ha～程度）
・デベロッパー等の事業者、SPCを対象

▶大規模オフィスビル、商業施設、ホテルほか複合開発

・工事着工後から竣工までの開発期間を含む長期安定的資金（最長40年※、期間一括返済）の調達
・返済額がシニアローンに劣る、よりリスクの高い資金の調達
・1案件あたり100億円を超えるような大規模な資金調達も可能

※支援期間は原則20年、但し、環境認知取得状況等を踏まえ、環境性能が良好と認められる場合には、最長40年。

18

グリーンアセット等整備支援業務(メザニン支援業務) 支援事例

所在地	事業者	竣工/着工	支援金額
東京都港区	東京駅前ビル	平成25年1月9日	150億円
東京都港区	渋谷キャスト	平成27年6月10日	60億円
東京都港区	パークプレイスタワー	平成28年2月26日	50億円
東京都港区	Harukaビル	平成28年9月13日	50億円
東京都港区	名神ビルディングセンタービル	平成30年11月30日	30億円
東京都港区	森ビル株式会社	平成31年11月22日	30億円
東京都港区	東京駅前ビル	平成29年2月26日	50億円
東京都港区	渋谷キャスト	平成27年6月10日	60億円
東京都港区	パークプレイスタワー	平成28年2月26日	50億円
東京都港区	Harukaビル	平成28年9月13日	50億円
東京都港区	名神ビルディングセンタービル	平成30年11月30日	30億円
東京都港区	森ビル株式会社	平成31年11月22日	30億円

PPP： 地方自治体が所有する土地の上に、民間事業者が建築物等の整備をする事業

19

共同型都市再構築業務 制度概要

・防災・環境性能の優れたプロジェクトや医療、福祉、商業等の都市機能を有するプロジェクトを行う民間事業者に長期安定的に資金を提供します。
・MINTO機構が共同事業者として建設費の一部を負担し、竣工時に取得した建物の持分を事業者に譲渡、その代金を原則として長期割賦で返済していただきます。（長期ローンと同様の効果）。

・都市部、地方問わず、公共施設を包含する中規模（土地500㎡～、延床2,000㎡～）の開発事業
・主にデベロッパー等の事業者を対象（SPCは原則対象外）。

▶多様な用途の建物に適用可能
賃貸オフィスビル、マルチテナント型物流施設、商業施設、ホテル、医療福祉施設等

・工事着工後から竣工までの開発期間を含む長期安定的な資金調達
・資金調達先の多様化に寄与

20

共同型都市再構築業務 支援事例

所在地	事業者	竣工/着工	支援金額
東京都港区	ダイアーズ	平成29年12月22日	2,000万円
東京都港区	ダイアーズ	平成30年11月22日	2,000万円
東京都港区	ダイアーズ	平成31年11月22日	3,000万円
東京都港区	ダイアーズ	平成29年12月22日	2,000万円
東京都港区	ダイアーズ	平成30年11月22日	2,000万円
東京都港区	ダイアーズ	平成31年11月22日	3,000万円

PPP： 地方自治体が所有する土地の上に、民間事業者が建築物等の整備をする事業

21

お気軽にお問い合わせください

■ホームページでも支援事例をご紹介します
<http://www.minto.or.jp>

■ご連絡
〒135-6008 東京都江東区豊洲3-3-3 豊洲センタービル8階
一般財団法人 民間都市開発推進機構

都市開発支援部	03-5546-0787 「共同型都市再構築業務」 「グリーンアセット等整備支援業務（メザニン支援業務）」
まちづくり支援部	03-5546-0797 「まち再生出資・社債取得業務」 「マネジメント型まちづくりファンド支援業務」 「クラウドファンディング活用型まちづくりファンド支援業務」 「まちなか公共空間等活用支援業務」 「老朽ストック活用リノベーション等推進型まちづくりファンド支援業務」

22

3.2.7 セッションの記録

当日のセッションの記録(登壇者への質問に対する回答)を以下に示す。(表中の敬称略)

発言者	発言録
足立 氏 (和歌山大学)	実は今回のシンポジウム前に皆さまから事前に質問を受けております。slidoを見るとたくさん質問が来ています。ここから15分程度、事前質問を私が読み上げますので、2~3分で回答して頂いて、そちらを受けて私と竹ヶ原さんとで補足説明をさせていただきます。それではまずは鈴木さんに来ている質問なのですが、2つ来ています。1つ目は「公共空間を使って子どもが楽しめる空間を作りたいと思っています。イベントだけでなく、恒常的なものを考えています。直近の参考事例等はなにかございますか。」ともう一つ「シャッター商店街のマーケットは可能ですか。」と来ているのですが、まずは子どもの方の質問からお願いします。
鈴木 氏 (O+Architecture)	子供の楽しめる空間という事は子育て世代が運営に係る事だと思うが、子育て世代の女性が街に関わる事で、街がポジティブになっていく事はよくある。どこの街にもある潜在的な力でありながら、軽視されてきたものだと思っている。まず、子供が楽しめる空間を作るのであれば、子育て世代の女性達が活躍できるまちづくりの在り方、活動の場を作っていく事が一つだと思う。その際に行政に何が出来るか、家庭があり、仕事がある中でリスクを負う事をわざわざしないので、まずは、楽しいから出来る、少しずつ経験を積みながら無理なく自立出来るような事を行政がサポートしていく事で持続可能になっていきます。 具体的な事例として、新狭山があります。これは商店の方が運営しているわけではなく、地域の子育て世代の女性達が実際の運営を担っていて、彼女達には出店料から出てくる売り上げを謝金として支払っている。大きな金額ではないが、そういった仕組みを行政と私たち専門家が入った時に組み立てておけば、彼女達は必然的に子供たちの居場所を作っていく事を一生懸命行っていくと思います。
足立 氏	行政が入っていく事で、制度的に安心感が増す。
鈴木 氏	制度がしっかりしていると、安心して取り組めて、そのまま経験を積んでいく。最初は疑って入ってきても、経験を積みながら楽しんでいきます。
足立 氏	子育て世代の女性が参画する点に関してコメントはありますか。
竹ヶ原 氏 (日本政策投資銀行)	不動産の価値の中の“S”として防災関連、安心安全の次に来るものが、その地域のテナントの方が安心して働ける環境をどう整えられるか、企業所内託児所等の狭い話ではなく、これをエリアで考えると鈴木さんが言っていた仕組みになると思う。これは間違いなく評価項目に入っている。そういった価値を提供しているエリアであることをテナントに見える化している事が大事です。
足立 氏	見えない価値を価値化する事で、持続可能な経営に繋がるということ。
竹ヶ原 氏	不動産の価値がそれで上がって、テナントやオーナーに返って来ることが一

発言者	発言録
	<p>番きれいな形だが、スムーズに行かないまでも、そういったステップを積み上げて、見える化する事が大事です。</p>
足立 氏	<p>シャッター通り商店街のマルシェの可能性の質問に関してはどうですか。</p>
鈴木 氏	<p>可能だと思う。テナントが空いている所の方がマーケットを行う意味があると思っている。シャッターを開けてマーケットを開催し、外部や近隣の人たちを呼ぶことで、その場所に可能性を感じたり、店舗が入る事もあるので、まずきっかけを作る事が大事。みんな商店が好きで衰退する事は悲しいが、買い物はしないという実情がある。商店街に来て楽しい、ついでに買い物もするという事で、劇的にすべてのシャッターが上がる事は無いが、持続可能な商店街になる事はあり得ると思います。</p>
足立 氏	<p>センチメンタル価値、商店街に愛着はあるが、買い物に行かない。続いて、内川さんへの質問です。内川さんのような人材はどのように集められますか</p>
内川 氏 (札幌駅前通まちづくり)	<p>私は札幌出身と思われがちですが、茨城県出身で、東京の都市環境コンサルタントで働いていました。そこでまちづくり会社に色々支援をしていて、人も出していた内の一人。全く札幌の事も知らなく、エアーマネジメントという言葉もまちづくり会社にきて初めて聞いた用語。まちづくりとエアーマネジメントの違いから勉強したので、逆に知らなくても始められることを伝えたい。前職で限界集落の住民の方にじっくり話を聞くことを行っていたので、その体制を整えていたことがとてもよかった。見るもの全てが新しかったので、そこに面白さがあり、続けられた。弊社の勤続年数が昨年末で約9年と割と長くて、安心して働きやすい環境だと思う。ハローワーク経由で採用もしている。街の理念を伝えて賛同してくれる方を採用したいと思います。</p>
竹ヶ原 氏	<p>まちづくりがハードからソフトに移ってきていて、そこで働く人の企画能力、調査能力が必要になってくると思うが、そういった能力の人を惹きつけられるかどうか、まちづくり会社、エアーマネジメントの企業価値になってくると思う。内川さんは色々サポートしていた際には選択肢がいくつもあったと思うが、現在のポストに一番惹きつけられた要因はなんですか。</p>
内川 氏	<p>札幌に来る事は割とギリギリに決まった事。若いうちに本州以外に住んでみたい、経験をしたいという気持ちが強かった。 新しい事を知る事が多く、それが楽しくて、現在に至っている。私自身は特技があるわけではないので、データをとって、アーカイブを残していく事に力を入れました。</p>
竹ヶ原 氏	<p>ここを掘っていく事で一番の肝の有能な人材の獲得になると思います。</p>
足立 氏	<p>色々な街に行くと、色々な偶然性やたまたまに出会うが、それをどう制度化していくかは、内川さんが言っていた事がヒントになると思う。 続いて、山本さんへの質問です。 民間の資金不足に関する質問が来ています。地域ではなかなかお金が集ま</p>

発言者	発言録
	らない。銀行はどうしたらお金を貸すか、教えて欲しい。
山本 氏(滋賀銀行)	<p>地域の課題解決をビジネスとして行う事は大事だと思う。事業や取り組みが継続可能でなければ持続出来ない。まずはキャッシュフローが回る事が大切。融資をするにはキャッシュフローが回るという前提がなければ、誰かが不幸になる事もある。金融機関としてはしっかり精査して無理があるところにはアドバイスをしています。</p> <p>銀行の融資以外にどう集めるか、滋賀銀行も地域の住民の一員なので、その取り組みに巻き込んでいく事も考えていくと、銀行側も入り方が変わってくると思う。地域への貢献の輪を広げて、地域の有力な方も巻き込んでいくといいと思います。</p>
足立 氏	キャッシュフローを取るとなると、公共性と対立するところがあると思うが、儲からない所には出せないと正直思う、そこはキャッシュフローをとれる形を一緒に考えてとなるのでしょうか。
山本 氏	全てキャッシュフローが回る事業になればいいが、実際にはそうならない。違う資金調達的手段、クラウドファンディングやソーシャルインパクトボンド等、弊行では助成事業も行っているので、色んな形を考えていく必要があると思います。
竹ヶ原 氏	<p>課題があり、その解決を事業として行ってもらう事がベースになる。金融機関も自分の金であって自分の物ではない、預金者から預かって利息をとって、返している。アップサイドのない世界。一般論として苦しいから融資がつかないはその通りだが、苦しい原因をもう少し考える必要がある。その事業の在り方で本当に良いのか、自分の事業として行っているから苦しいのか、ベースを公が持ってその上で民の活力を活用するって事なら、違いも含めてコストコードが違ってくる。事業を自分の熱意で行っている人も尊い一方で、より上手く行っている人もいる。そういった人とのマッチング等もあると思います。</p> <p>金融機関の使い方を、融資ばかり考えるのではなく、コンサルティング、地域消費者機能等、色々な機能を発揮して事業価値を高めるような方向にもっていく。公的補助も色々あるので、融資と組み合わせる事で見え方が変わってくる。事業の組み替え方を金融機関と一緒に考える。そういう時代になってきている。広域的な価値もみて、考える事が必要です。</p>
足立 氏	<p>竹ヶ原さんへの質問です。</p> <p>大手有名企業ばかりで、官民連携が進み、地元の企業が成長するような機運が乏しい。経済循環でも首都圏に流れてしまうが、地方企業が出来る事はあるのでしょうか。</p>
竹ヶ原 氏	プレイヤーをどう捉えるか。地域の金融機関は地域の事業を見ていればいい。広域的な所が目立っているが、所得の循環を狭いエリアで完結しようと思ったら、プレイヤーは地域の事業者しかいない。地域の金融機関がきちんとサ

発言者	発言録
	<p>ポートしていければ、地域に密着して、地域を豊かにしていける。各地域で伸ばす企業は違うので、地に足をつけて考えていく必要があります。</p>
足立 氏	<p>地域金融機関の役割は大きいと思う。山本さんへの質問です。 地域資源の活用のポイントはあるか。</p>
山本 氏	<p>私たちが気づかない地域資源がたくさんある。5年前に地域の宝を探しに行くボランティアを行った。地元の人も知らなかった場所を掘り起こして、ガイドブックにする。見方を変えないと気づけない資源があると思う。地域にいて当然だと思っていると気づかないので、違う目線が入ってようやくその価値に気づく事もあると思っている。</p> <p>近江商人がまさにそれで、江戸時代は地域循環している経済で、各地で地産地消している。そこに近江商人はあえて北海道から海産物を持ってきたり、各地に産物を回していた。行った地域に無いものを持っていき、その地域にあるものを持って売りに行く。</p> <p>外部の人ではあるが結果的にその地域の発展に繋がる商売をした。新しい目線を入れることが地域の発展に繋がる事になれば有力な手段になると思います。</p>
足立 氏	<p>発展する為には、地域資源の有効な活用が必要ということです。 鈴木さんへの質問です。 地域のお金が外に流れない、マーケット。商店街の可能性。 マーケットを急には起こせないがどうしたらいいのでしょうか。</p>
鈴木 氏	<p>マーケットは急に起こすものではない。やればいいものではない。 マーケットを考える際に、街の成り立ちを考える。マーケットを考える事は街を考える事とほぼ同義。現在、埼玉県の2つの地域でマーケットの学校として、住民や事業者等と対話をしている。2つの地域だが、まったく話の内容が違う。まずは、街や地域の事を考えて地域を活かせるツールとしてマーケットをどう活用して何がしたいのかを考える事が一番大事。あくまでマーケットはツールの一つです。</p>
足立 氏	<p>まちづくりを行っている、組織があるので、組織に頼ってしまう。組織ではなくマーケットがあるから色々な人が集まって、最終的に組織が出来るということでしょうか。</p>
鈴木 氏	<p>組織で行う場合も、緩やかな合意形成と私は呼んでいるが、商店街で合意形成はとても難しい。その際になんとかやってみようマーケットという形で、行って、組織には頼らない形で現在行っています。</p>
足立 氏	<p>内川さんへの質問です。まちづくりを持続的に進めていくにはどうしたらいいか。札幌駅は特殊ではないか。他の地方都市を考えた際に、札幌モデルは持続可能といえるのでしょうか。</p>
内川 氏	<p>持続可能ではなくなってきているので、今検討を進めています。</p>

発言者	発言録
	<p>建て替えが進んでいて、もともと意図して仕掛けられていた事ではあるが、私たちが想定している以上に凄い勢いで進んでいる。空間を使ってくれる方も多く、市民が使える場がなくなっていくかもしれない。私たちのエリアはどちらかという、空間を使ってもらう事で外的資金が入ってくる状況だったのですが、外部の資金が入りづらくなる可能性がある、そこが喫緊の課題です。</p> <p>今までの実績と全く別の事を行う事は違うと思うので、やってきた事を再度検討している。例えば、エリア全体で行った方が良いサービス、地域の求められているサービスはどういったものか、地域の中から資金をもらう事も難しいが、駅前通りは色々な組織があるので、組織の中で上手く資金を活用出来ないか等を考えている。</p> <p>一度作ったスキームがずっと続くわけではない。それをこまめに検証していく事が街を持続的に進める事に繋がると思います。</p>
足立 氏	<p>そこが一番まちづくりで面倒な所です。変化に合わせて設計しなおす事は大変です。竹ヶ原さんへの事前投票において「エリアマネジメントと金融」というキーワードが最も多く票を集めていますが、その辺りはどのようにお考えでしょうか。</p>
竹ヶ原 氏	<p>地域資源がキーワードになっていると思う。需要と供給が地域にあっているか、金融がサポート出来る、地に足のついた議論が出来るかどうか。このエリアの資源は何かを考え、事業として東ねていく設計図を担っていく事がエリアマネジメントの仕事。エリアマネジメントの議論の初期段階から金融と一緒に入っている事が大事だと思います。</p>
足立 氏	<p>エリアマネジメントに一番詳しいのは、地域住民。</p> <p>ローカルファーストとは、地域住民が一番詳しい地域資源を磨いて育てて、商品にしていく所だと思う。</p> <p>今回のパネルディスカッションのキーワードは、「地域の事は地域の人が一番知っている」、その人たちの能力を活かす為に、金融機関があり、まちづくり会社があり、マーケットがあると思う。</p> <p>時間になりましたので、これでパネルディスカッションを終了します。</p> <p>登壇者のみなさま、ありがとうございました。</p>

3.2.8 登壇者への質問

登壇者への質問を slido の Q&A にてイベント当日 13:30 より募集した。

イベント当日の slido への延べ参加者数は 274 人、寄せられた質問は 43 問であった。

主に以下の質問を基にセッションにおいて意見交換を行った。

表 3.2-3 セッションで意見交換した登壇者への質問

質問事項
(山本さま)地域のまちづくり会社でも金融機関からの融資が可能ですか？
(内川さま)まちづくり会社において、内川さんのような人財はどのようにリクルートすればよいですか？
(鈴木さま)シャッター通りとなった商店街でもマーケットは可能ですか？
(竹ヶ原さま) 官民連携の観点では、地域の企業を育てる観点が重要に思います。大手有名企業ばかりで官民連携が進み、地域の企業が成長する様な機運が乏しいです。経済循環でも首都圏に資金が流れる形となり、本当の意味で地域のためになっているのか疑問を感じるプロジェクトばかりに見えます。地元企業はどう取り組むべきだと思われませんか？
(竹ヶ原さま) エリアマネジメント(官民連携まちづくり)への地方金融機関の認識がまだ低いようにも感じる(地域資源、地域への誇り、長期的目線の話をするが、結局観光客目線の取り組みに寄ってしまう)。共感をもってもらうよう話しても協力関係が薄い。金融機関にどう共感を持ってもらえればよいのか。
(鈴木さま) 公共空間を使って子ども(子育て世帯)が楽しめる空間を作りたいと考えています。イベントだけでなく、恒常的なものと考えています。直近の参考事例や民間企業と行政の関係性等がありましたら、ご紹介いただけますと幸いです。
(鈴木さま) マーケットが全くない地域で、マーケットを地域に根付かせるために自治体がどのように働きかければ良いと考えていますか？
(内川さま) 札幌駅は1日当たりの乗降客数が約 120,000 人のようですが、乗降客数がその20%~25%の地域で、同様な取り組みが成立するとお考えでしょうか？また、その理由を教えてください。

3.3 イベント後のとりまとめ・発信

3.3.1 参加者アンケートの実施

参加者に対して、イベントに関するアンケートを実施した。申込同様オンラインで行い、アンケートフォームの URL や QR コードについては、イベント後に Zoom 上で紹介することにて依頼を行った。実施内容の詳細は以下のとおりである。

表 3.3-1 アンケート募集期間

募集内容	募集期間	図表番号
参加者アンケート	令和5年1月30日(月) ～ 令和5年2月6日(月)	図 3.3-1～3

【官民連携まちづくりDAY2023】参加者アンケート

オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023」のアンケートフォームです。
開催日時：2023年1月30日(月)
回答〆切：2023年2月6日(月) 17:00
主催：国土交通省、全国エリマネジメントネットワーク

…

* 必須

1. 本イベントを知ったきっかけは何ですか？ (複数回答可)

国土交通省のHPを見て

全国エリマネジメントネットワークからの案内を見て (メール、SNS等)

noteの記事を見て

登壇者のSNSを見て

ああ forms.office.com

図 3.3-1 アンケートフォームの表示画面(スマートフォン・タブレット)

2023/02/14 18:30 【官民連携まちづくりDAY2023】参加者アンケート

【官民連携まちづくりDAY2023】参加者アンケート

オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023」のアンケートフォームです。
開催日時：2023年1月30日（月）
回答時期：2023年2月6日（月）17:00
主催：国土交通省、全国エアリマネジメントネットワーク

* 必須

1. 本イベントを知ったきっかけは何ですか？（複数回答可）*

- 国土交通省のHPを見て
- 全国エアリマネジメントネットワークからの案内を見て（メール、SNS等）
- noteの記事を見て
- 登壇者のSNSを見て
- 知人等に勧められて
- その他

[https://forms.office.com/Pages/DesignPage/V2.aspx?origin=NeoPortalPage&subpage=design&id=ENY9w16W0mQZmzCS1y-4LNSYVg5kpyg... 1/7](https://forms.office.com/Pages/DesignPage/V2.aspx?origin=NeoPortalPage&subpage=design&id=ENY9w16W0mQZmzCS1y-4LNSYVg5kpyg...)

2023/02/14 18:30 【官民連携まちづくりDAY2023】参加者アンケート

2. 本イベントに参加した理由は何ですか？（複数回答可）*

- 官民連携に関する取組に興味があったから
- 経済とまちづくりに興味があったから
- 登壇者とその取組に興味があったから
- 国土交通省の取組に興味があったから
- 全国エアリマネジメントネットワークの取組に興味があったから
- その他

3. 本イベントで最も面白かったプログラムを1つ教えてください。*

- インプットトーク①「変化する金融と事業機会としてのまちづくりとの連携」（竹ヶ俣氏）（
- インプットトーク②「まちづくりと経済再生-ローカルファースト型の実践-」足立教授）
- セッション「経済とまちづくり」（各登壇者）
- その他

4. 3. のプログラムを選んだ理由を教えてください。

[https://forms.office.com/Pages/DesignPage/V2.aspx?origin=NeoPortalPage&subpage=design&id=ENY9w16W0mQZmzCS1y-4LNSYVg5kpyg... 2/7](https://forms.office.com/Pages/DesignPage/V2.aspx?origin=NeoPortalPage&subpage=design&id=ENY9w16W0mQZmzCS1y-4LNSYVg5kpyg...)

2023/02/14 18:30 【官民連携まちづくりDAY2023】参加者アンケート

5. 本プログラムを視聴した感想を教えてください。*

	とても満足	やや満足	普通	やや不満	不満
インプットトーク①「変化する金融と事業機会としてのまちづくりとの連携」（竹ヶ俣氏）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インプットトーク②「まちづくりと経済再生-ローカルファースト型の実践-」（足立教授）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
セッション「経済とまちづくり」（各登壇者）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[https://forms.office.com/Pages/DesignPage/V2.aspx?origin=NeoPortalPage&subpage=design&id=ENY9w16W0mQZmzCS1y-4LNSYVg5kpyg... 3/7](https://forms.office.com/Pages/DesignPage/V2.aspx?origin=NeoPortalPage&subpage=design&id=ENY9w16W0mQZmzCS1y-4LNSYVg5kpyg...)

2023/02/14 18:30 【官民連携まちづくりDAY2023】参加者アンケート

6. 本プログラムの所要時間について教えてください。*

	ちょうど良い	やや長い	長い	やや短い	短い
インプットトーク①「変化する金融と事業機会としてのまちづくりとの連携」（竹ヶ俣氏）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
インプットトーク②「まちづくりと経済再生-ローカルファースト型の実践-」（足立教授）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
セッション「経済とまちづくり」（各登壇者）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

7. その他、全体を通してご意見・ご感想などがございましたらご記入ください。

8. イベントを通しての感想を教えてください。*

	とても満足	やや満足	普通	やや不満	不満
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[https://forms.office.com/Pages/DesignPage/V2.aspx?origin=NeoPortalPage&subpage=design&id=ENY9w16W0mQZmzCS1y-4LNSYVg5kpyg... 4/7](https://forms.office.com/Pages/DesignPage/V2.aspx?origin=NeoPortalPage&subpage=design&id=ENY9w16W0mQZmzCS1y-4LNSYVg5kpyg...)

図 3.3-2 アンケートフォームの項目と表示画面(PC)

2023/02/14 18:30 【市民連携まちづくりDAY2023】参加者アンケート

9. 次回開催時に希望するテーマ等がございましたらご記入ください。

10. お住まい（都道府県）*

11. お住まい（市区町村）*

12. 所属（属性）*

- 都市再生推進法人
- 民間等（都市再生推進法人を除く）
- 地方公共団体
- 学生・大学関係者
- 国土交通省（地方整備局を含む）
- 他省庁
- その他

<https://forms.office.com/Pages/DesignPage/V2.aspx?origin=NeoPortalPage&subpage=design&id=ENY9w18Wn0mQZmCS7y4LNG5Yjg6fpyg...> 5/7

2023/02/14 18:30 【市民連携まちづくりDAY2023】参加者アンケート

13. ご専門*

- 都市
- 建築
- 土木
- 金融
- その他

14. 年齢*

- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上

15. 性別*

- 男性
- 女性
- その他

<https://forms.office.com/Pages/DesignPage/V2.aspx?origin=NeoPortalPage&subpage=design&id=ENY9w18Wn0mQZmCS7y4LNG5Yjg6fpyg...> 6/7

2023/02/14 18:30 【市民連携まちづくりDAY2023】参加者アンケート

16. 本アンケートの取扱いに関して*

ご入力頂いたアンケートは、本イベントの内部的な検討にのみ使用させていただきます。同意の上、フォームの送信をお願いします。

同意する

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms

<https://forms.office.com/Pages/DesignPage/V2.aspx?origin=NeoPortalPage&subpage=design&id=ENY9w18Wn0mQZmCS7y4LNG5Yjg6fpyg...> 7/7

図 3.3-3 アンケートフォームの項目と表示画面(PC)

3.3.2 参加者アンケートの結果

参加者向けのアンケート結果の集計は、下記のとおりである。

表 3.3-2 参加者アンケートの回答件数

項目	件数
当日参加者数	488 件
参加者アンケート回答件数	141 件

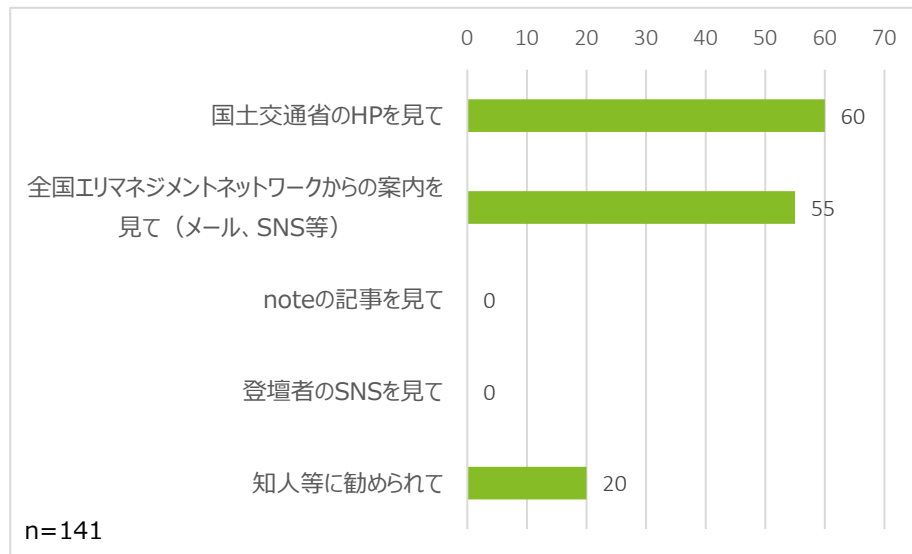


図 3.3-4 イベント参加のきっかけ(複数回答可)

表 3.3-3 イベント参加のきっかけ(その他の回答)

#	回答
1	都市計画学会から案内メール
2	他自治体からの案内
3	職場回覧文書を見て
4	自治体回覧
5	所属する協議会からの案内
6	PPP サポーターのメルマガ
7	行政からの周知
8	省内での周知があったため
9	都道府県からの情報提供
10	関係者が参加
11	都道府県からの情報提供
12	地元のエリアマネジメント団体の紹介
13	UDCJ 通信+デザイン通信を見て
14	社内告知
15	まちづくり関連のメールマガジン
16	行政からの案内

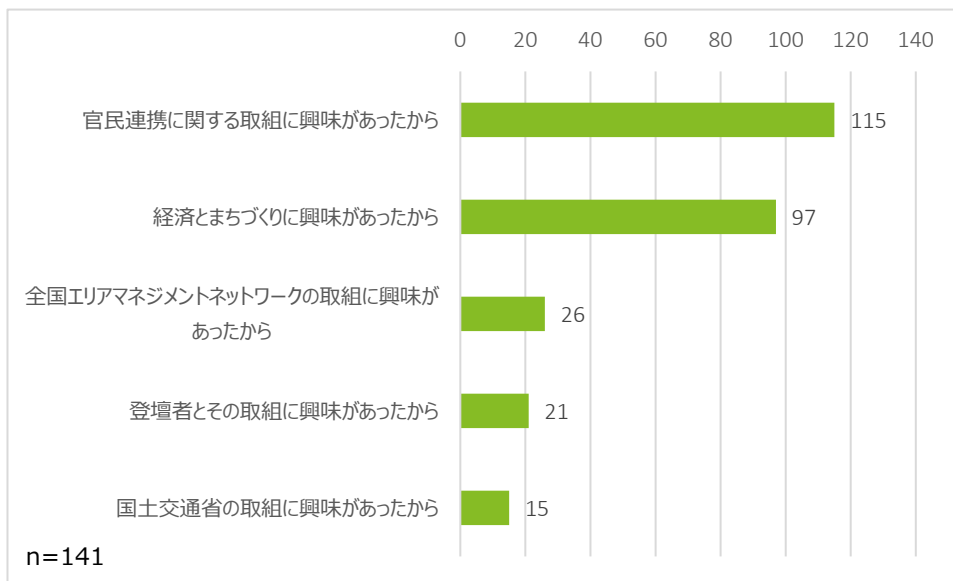


図 3.3-5 イベント参加の動機(複数回答可)

表 3.3-4 イベント参加の動機(その他の回答)

#	回答
1	エリマネに関する知見を高めたいと考えたから

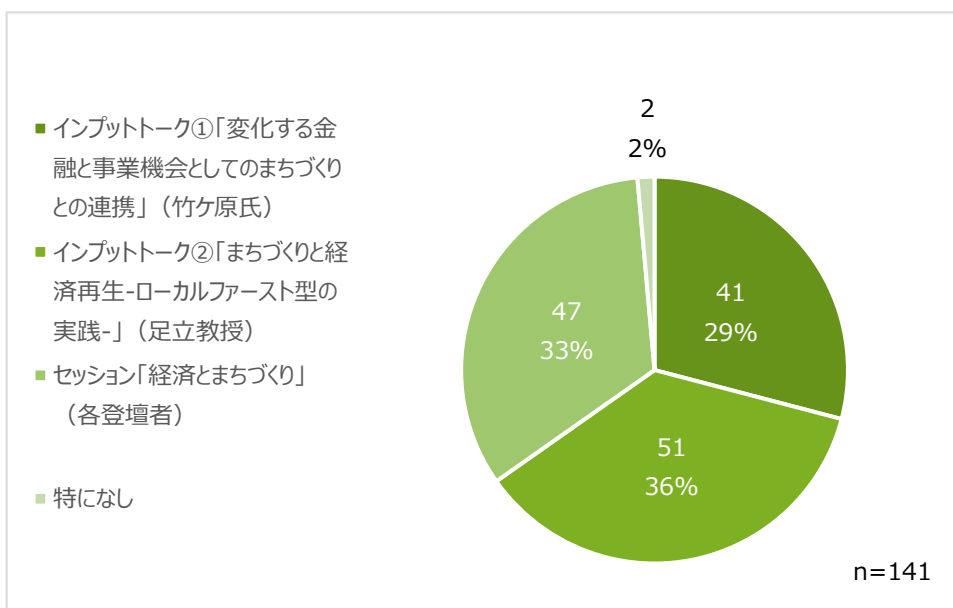


図 3.3-6 最も面白いと感じたプログラム

表 3.3-5 各プログラムを最も面白いと感じた理由(1/3)

理由 (抜粋)
インプットトーク①「変化する金融と事業機会としてのまちづくりとの連携」(竹ヶ原氏)
内容は既知のものが多かったが、地方に住み続けている方の生の声だったから
世界の大きな潮流を、短時間で解説していただいたから
普段は視聴しない分野の話だったからです。
包括的な理解を得ることが出来た
理論と実践の両方を教えてくださった。
金融の世界に馴染みがなかったのととてもわかりやすかったです
実践例が良かった。
これからのまちづくりに一番重要だと思うから。
身近でわかりやすかった
取り組む方向性がわかりやすかった
各地の事例を端的に紹介してくれたので。
地域活性化やまちづくりの視点において経済活動は重要なことであり、これらと金融との関わりについて勉強になったから。
取り組んでいる内容に近いため
投資家に向けた、まちづくりの KPI についてのお話が大変興味深かったです。
金融がまちづくりという価値が測りにくいものに将来的な価値を見出そうとしている点が興味深かった。

表 3.3-6 各プログラムを最も面白いと感じた理由(2/3)

理由（抜粋）
インプットトーク②「まちづくりと経済再生-ローカルファースト型の実践-」（足立教授）
事例が具体的で分かり易かった
金融の射程が ESG の枠組みで街づくり、エリアマネジメントにどうかかわるのか、よく理解できた。
ぼやっと理解していたローカルファーストの理解につながった
地方の活性化の実現を目指しているため
納得感があり非常に有意義な話だったため。
事例が興味深かった
ローカルファーストの可能性を感じることができた。
まちづくりに対する金融サイドの捉え方の変化を時系列で学ぶことが出来たから
考え方、事例提示がわかりやすく、後のプログラム理解にもつながったため。
官民連携における資金調達等、経済分野の重要性を感じていたため
まちづくりと金融業界の接点、考え方、最新動向を知ることができた
ESG 投資や SDGs などについて、非常にわかりやすく説明されていたため。
話題が身近の題材を扱っていた
ローカルファーストについてや、地消地産の考え方など自分にはない発見でした
官民連携にふれられていたから
各種数値を使った説明で分かりやすかった。
ESD,SDGs がなぜ金融に関係すると考えられているかが感じられたから
ローカルファーストに興味があったので。
ローカルファーストの具体的な事例を知ることができたから
金融サイドからの長期的投資価値について、氷山の水面下部分の重要性等、理解が深まった。
現在、公園を核としたまちづくりに係る業務に携わっており、役立つ内容が多かったため
事例も交えての分かりやすい講話だった。
ローカルファーストという考え方が新鮮だったことと、少しの努力でも経済効果が上がることに興味を持った。
具体的で分り易かった。
まちづくりに対する経済からの視点が新鮮で、具体的な手法を多く紹介してくれたため、とても勉強になった。
地方のまちづくり事業を企画していて、財政問題がネックとなっているため。
地方都市におけるまちづくりでは、ファイナンスが最大のボトルネックと考えているため。
収益性は、「ご法度」の時代から、変化していくことの必要性を理解することができました。
金融機関としての視点から聞けた
まちづくりの施策に感銘を受けたため
まちづくりと経済についてわかりやすかったため

表 3.3-7 各プログラムを最も面白いと感じた理由(3/3)

理由（抜粋）
セッション「経済とまちづくり」（各登壇者）
札幌の話を書きたかったから
現場の音が聴けた
視聴者の質問に対する回答が具体的でよかった
それぞれの取り組みが参考になったから
様々な意見が聞けたため
まちづくりに関わる多様な立場で、経済(財源)に関するご見解を拝聴できたから。
札幌の事例が参考になった。
鈴木美央様のご講演が参考になったため。
様々なかたからのご意見が聞けたから
実際のまちに落とし込んだ具体的な事例を知ることができたので良かった
具体的な事例が多くわかりやすい
業務上の課題解決のヒントが得られたから。
近江商人の三方よし、の理念
鈴木氏の、組織によるのではなくマーケットという場を作るという考え方が非常に興味深かった。
公民連携のまちづくりを実践されている方のお話を聞いて参考になったため
まちづくりの最前線で働く皆さんの生の意見を聞くことが出来て良かった。
色々な角度からの話が聞け、まちづくり活動に参考になる話が聞けたから
質問に対して回答してもらうことが有意義だったと感じたため。
実例で分かりやすい
各登壇者が違う立場から同じ方向性を向いた意見を話していた点は、街づくりの参考となった
様々な立場から多角的に議論を進められていることで、理解が深まった。
エリアマネジメントと地銀の関係性について考えたことがなかったため
まちづくり団体の課題に、財源と KPI 設定があると感じており、そのヒントを得られた。
様々な事例等の提示により、自分の自治体であれば、というシミュレーションを考えることができた。
マーケットの取組み、札幌市の街づくりの取組みなど事例が参考になったから。
リアルで街に関わっている人と接している方達の話は興味深かった。
札幌駅前通の公共空間の活用に興味があったため。
生きた情報を得られていると感じたため
地方の生の声が効けたから
様々な立場の方の考え方を聞ける場は貴重であるため。
実行者による事例紹介及び意見交換だから

各プログラムの内容の満足度と所要時間の満足度を比較すると、内容の満足度は高いものの、セッションの所要時間に関しては、他のプログラムと比較し、「ちょうど良い」という回答が少なく、「短い」の回答が多くなっている。

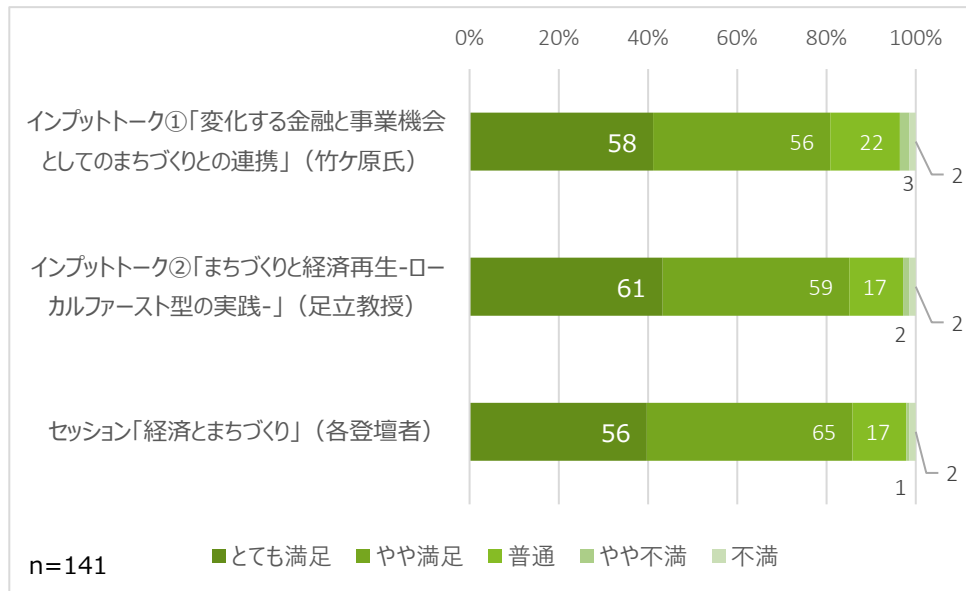


図 3.3-7 各プログラム内容の満足度

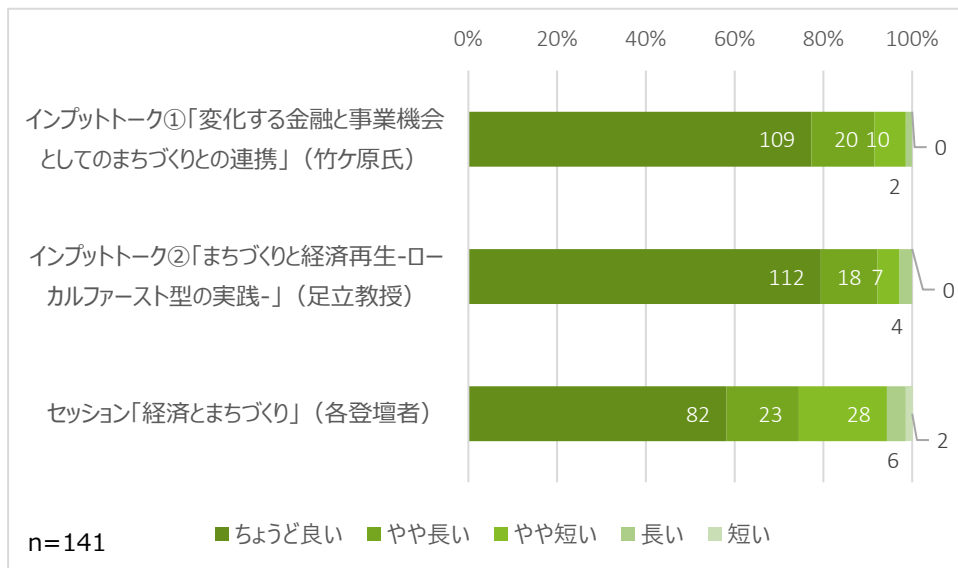


図 3.3-8 各プログラム所要時間の満足度

表 3.3-8 イベント全体に関する意見など

分類	回答（抜粋）
プログラム	今回の地域経済というキーワードは現実的で良かったと思います。
	レジュメに対して説明時間が短く駆け足気味・・・
	色々やりました、やっていますという取り組みがあるが、その結果や効果がどうであるのか、どうであったのかを知りたい。
	地方都市の事例をたくさん紹介してほしい。
	官民連携の事例紹介が具体性に欠けているように感じた。
	金融とまちづくりのかかわりの生の部分をもっと聞かせてほしかった。例えば、融資が行われた理由・条件など
	セッション形式が分かりやすく良かった。
	セッションの登壇者の冒頭の取り組み紹介は不要にし(有名な事例が多いので)、コーディネータが振る形で各キーワードに適切な事例を小出しにした方が時間も短く深まったかと思ます。 Slido の意見があまり拾われれないのが残念でした。
運営	スライドを用いているので、もう少し質問する時間を取れると良いと感じた。
	セッション時の画面共有について、会場で資料投影したものを映像として画面共有していたかと思うのですが一部細かい表記など資料が不明瞭な箇所があったため、インプットトーク同様にデータでの画面共有をすべきだと思いました。
	全体的に時間がなかったのか、話すのが早かった気がします。
	オンラインゆえ、少し時間としては長く感じた。
	途中から共有されている資料(画面)の解像度が低く、粗くなっておりました。おそらく設定かと思いましたので、ご確認をいただければ幸いです。スライドを利用した Q&A がとても分かりやすかったです。もし欲を言うならば、回答済みの Q に対し、「A:回答済み」等入れていただければ、わかりやすいかと思いました。
要望	とても勉強になった。本日のスライド資料をダウンロードできるようにしていただきたい。
	事前に資料に目を通した上で話を聞きたかった
	今回の全プログラムで使用された資料等も HP の方に掲載いただけるとありがたいです。

表 3.3-9 イベント全体に関する感想

回答（抜粋）
非常に勉強になりました。次の機会にも参加したいと思います。
稼ぐエリマネは昔からのテーマだが、投資価値という新しい座標を官民で共有することが大切と感じた。
登壇者も十分に準備をされており、質の高いセミナーでした。
まちづくりの実現性、継続性に金融は欠かせないと思います。
頑張っている皆様からエネルギーをいただきました。
この度は貴重な機会に参加をさせていただきまして誠にありがとうございました。
ローカルファーストの考えや官民連携、金融の働きが重要であると感じた。
すばらしかった。大変、為になった
来年も楽しみにしております。
非常に参考になりました。また、このような機会を設けていただきたいです。

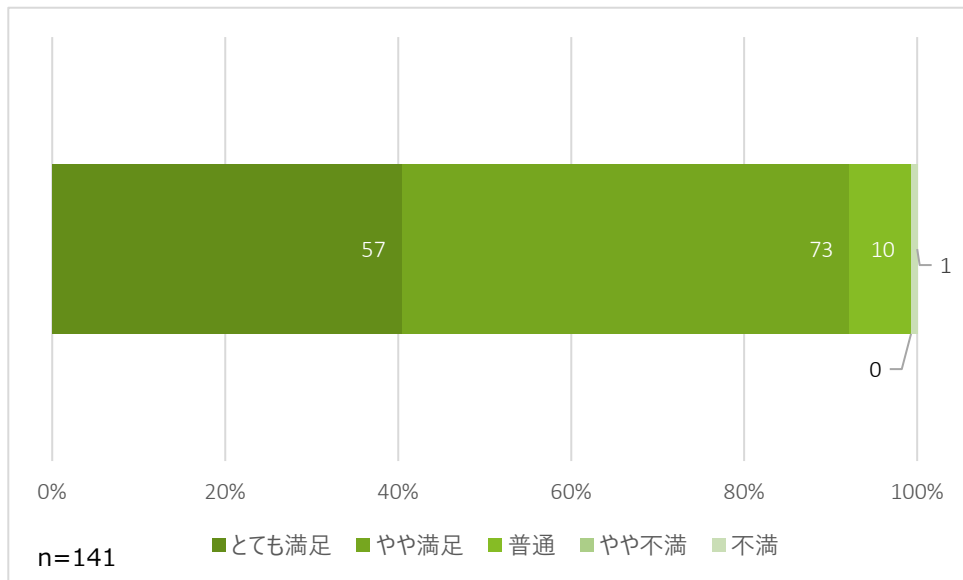


図 3.3-9 イベント全体の満足度

表 3.3-10 次回開催時に取り扱いを希望するテーマ

分類	理由
エリアマネジメント	地域の人々との効果的なかかわり方
	まちづくりとエリアプラットフォームについて
	エリアマネジメントと SDGs
	エリアマネジメント、事業スキームの構築
	まちづくりの DX
	エリアマネジメント活動団体の組織強化策
	エリアの中でのプレイヤーの創出、まちづくり会社、団体の運営方法、キーパーソン、プランナーの増やし方等
	地域の人々との効果的なかかわり方
	まちづくりとエリアプラットフォームについて
	エリアマネジメントと SDGs
	エリアマネジメント、事業スキームの構築
	事例紹介
成功事例、失敗事例等、リアルな内容	
まちづくりの成功事例、課題をテーマにして頂きたい。	
立ち上げまでのプロセス、苦勞。利用した補助制度や、地域住民の巻き込み方等、詳しい事例を知りたい。	
官民連携	まちづくりと DX、GX での官民連携について、事例や取組を紹介してほしい。
	官民連携をさらに進める要素としての行政内(都市整備部門と商工部門・保健所・道路部門・建築指導部門等)の連携や民民(多様な担い手同士)の連携について
地方都市	地方都市をメインにしたもの
	人口規模が 5 万人以下の地方都市の公民連携事業の成功例と事業スキーム
	30~50 万都市での街づくり。便利な交通網が無いと地方都市は再生していきにくい。公的投資が不足するなどのようにして民間資金の投資を地方の小都市に呼び込むのかについて講演して欲しい。
その他	資金調達について
	事業における上流と下流のテーマは切り分けした方が良いと思う。
	エリマネをほとんど知らない街の人々と一緒に聞くことで議論の種になるようなテーマ・構成

表 3.3-11 回答者の居住地域

都道府県	人数	都道府県	人数
東京都	46	茨城県	2
神奈川県	16	新潟県	2
北海道	9	長野県	2
愛知県	7	岐阜県	2
大阪府	7	兵庫県	2
福岡県	7	岩手県	1
広島県	6	福島県	1
埼玉県	4	栃木県	1
静岡県	4	福井県	1
三重県	4	京都府	1
群馬県	3	山口県	1
千葉県	3	徳島県	1
青森県	2	香川県	1
宮城県	2	愛媛県	1
山形県	2	-	n=141

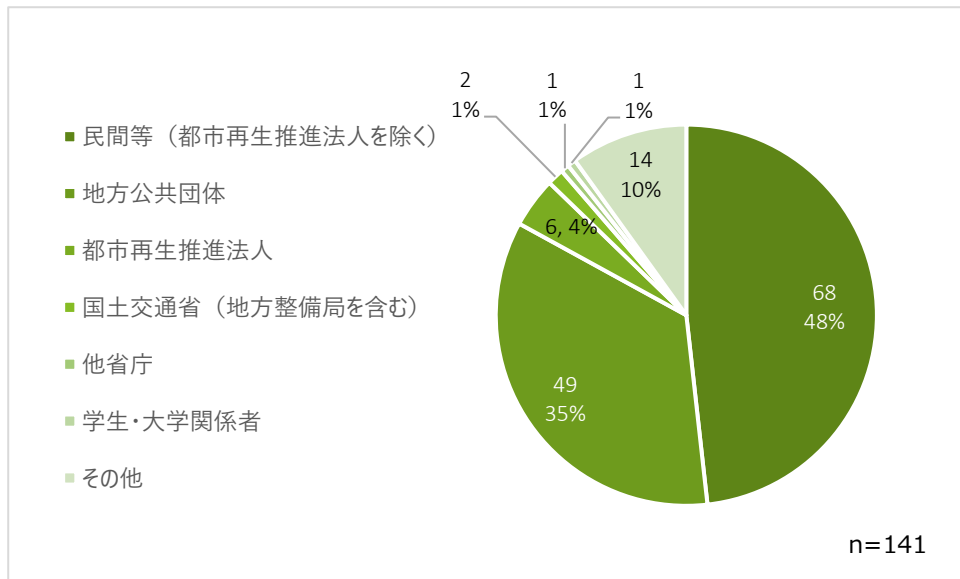


図 3.3-10 回答者の職業

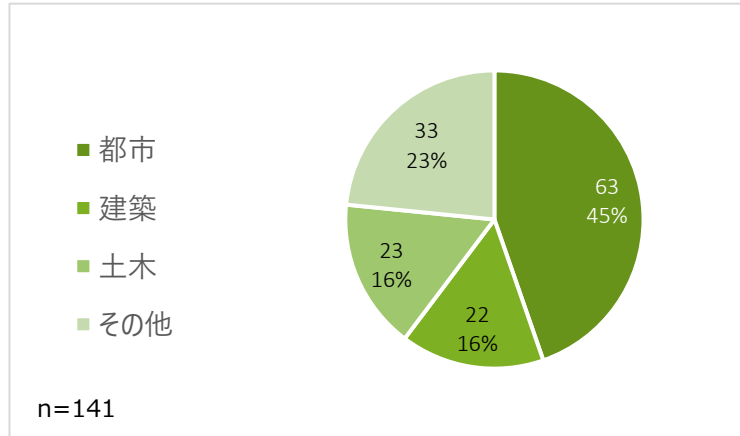


図 3.3-11 回答者の専門分野

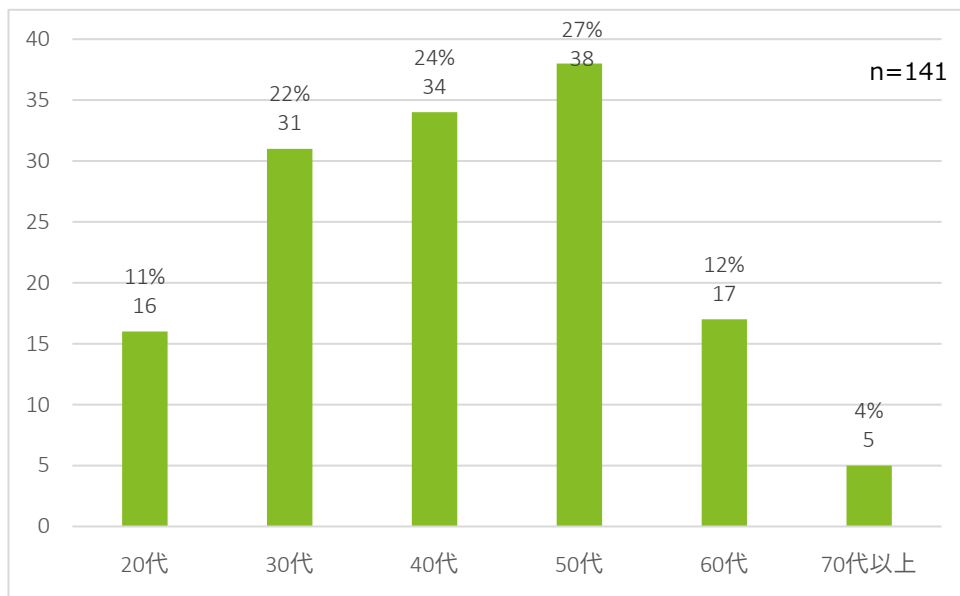


図 3.3-12 回答者の年代層

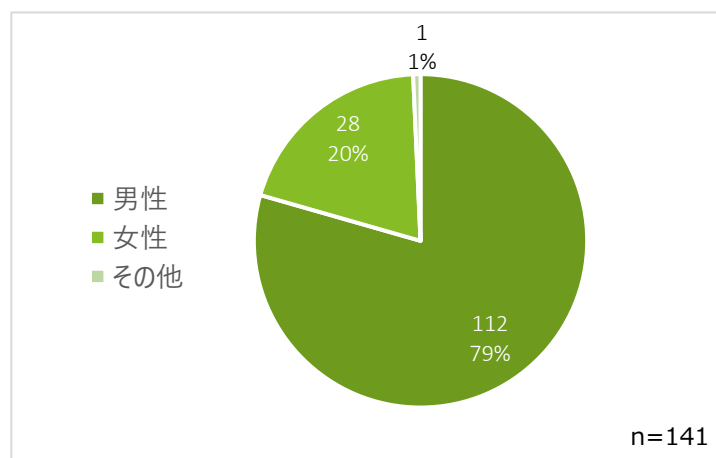


図 3.3-13 回答者の性別

3.3.3 イベント後の情報発信

レポートなどのイベント後の情報発信は、開催告知で使用した note のアカウントにて記事投稿を行った。また、イベントの主なプログラムについては、官民連携プラットフォームの YouTube チャンネルへ編集の上、投稿を行い、同 note 上にて紹介を行った。投稿に際しては、参加申込者へメール配信を行い、周知を図った。投稿内容の詳細は以下のとおりである。

表 3.3-12 イベント後の note 投稿記事及び配信動画一覧

#	内容	公開日	URL	掲載画面
1	note イベントレポート及び YouTube 告知記事	令和 5 年 3 月 17 日(金)	https://note.com/kanmin_machi/n/n4bfd1a2c1f50	図 3.3-14~15
2	YouTube 動画 インブットーク① ㈱日本政策投資銀行/竹ヶ原 氏	令和 5 年 3 月 16 日(木)	https://www.youtube.com/watch?v=oaWkEltpmZ0&t=12s	図 3.3-16
3	YouTube 動画 インブットーク② 和歌山大学 足立教授	令和 5 年 3 月 16 日(木)	https://www.youtube.com/watch?v=O8snv28-dDM	図 3.3-17
4	YouTube 動画 セッション 登壇者 5 名	令和 5 年 3 月 16 日(木)	https://www.youtube.com/watch?v=aL1ZQvSQP0k&t=2447s	図 3.3-18
5	YouTube 動画 民都機構より情報 提供 民間都市開発推進機構 檜館 孝志	令和 5 年 3 月 16 日(木)	https://www.youtube.com/watch?v=oimSBn_3-5s	図 3.3-19

2023/03/16 19:43 【開催レポート】オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」 | 官民連携まちづくりDAY 2...



【開催レポート】オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」

官民連携まちづくりDAY 2023事務局
2023年3月16日 19:39

こんにちは！官民連携まちづくりDAY 2023事務局です。

先日は、国土交通省×全国エリアマネジメントネットワーク共催のオンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」へ多くの方にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。皆さまと一緒にイベントを盛り上げられたのではないかと考えております。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

https://note.com/kanmin_machi/n44b61a2c1f50 1/9


2023/03/16 19:43 【開催レポート】オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」 | 官民連携まちづくりDAY 2...

また、参加者アンケートでは「当日参加できなかったため、アーカイブ動画を残して欲しい。」や「とても意義であったため、職場の仲間に内容を共有したい。」などの嬉しいお問合せを多数いただいておりますので、本記事ではプログラム中の下記の内容・アーカイブ動画をご紹介します。

- インプットトーク① (竹ヶ原 啓介 氏)
「変化する金融と事業機会としてのまちづくりとの連携」
- インプットトーク② (足立 基浩 教授)
「まちづくりと経済再生-ローカルファーストの実践-」
- セッション (経済とまちづくりについて・質問への回答)
- 民間都市開発推進機構より情報提供

1. インプットトーク① (竹ヶ原 啓介 氏)

「変化する金融と事業機会としてのまちづくりとの連携」



和歌山大学にて金融とまちづくりの連携について研究されている竹ヶ原 啓介さまにご登壇いただきました。

稼ぐ力の重要性和社会課題との関連性、企業とエリアマネジメントの関わり

https://note.com/kanmin_machi/n44b61a2c1f50 2/9

2023/03/16 19:43 【開催レポート】オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」 | 官民連携まちづくりDAY 2...

について、今後の金融およびまちづくりの在り方・各機関の役割を明らかにされています。

ご登壇の動画は[こちら](#)をご覧ください。



ESG投資とSDGs



ESG投資とSDGsの関係
社会的な課題解決が事業機会と投資機会を生む

投資機会増 ← ESG投資 → 事業機会増
GPIF ← 運用会社 → 企業
↓ ↓
2015年9月署名 ESGの推進 持続可能な社会 気候変動削減 (CSV)

PRG Principles for Responsible Investment
運用会社
企業
気候変動削減 (CSV)

(出所) GPIF <https://www.gpif.go.jp/investment/eng/>

DBJ 日本政策投資銀行

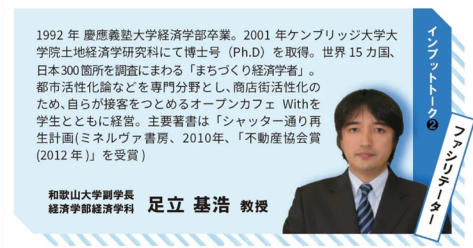
https://note.com/kanmin_machi/n44b61a2c1f50 3/9

2023/03/16 19:43 【開催レポート】オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」 | 官民連携まちづくりDAY 2...

竹ヶ原 啓介 氏による講演資料 (抜粋)

2. インプットトーク② (足立 基浩 教授)

「まちづくりと経済再生-ローカルファーストの実践-」



和歌山大学にて「経済学×まちづくり」について研究されている足立 基浩教授にご登壇いただきました。

地元における経済活動の重要性や地元への愛着 (センチメンタル価値) について、非常に興味深いお考えをお示しいただいております。

さらには事例を交えながら、地元で経済を回していくローカルファースト型のまちづくり手法について、ご紹介いただきました。

ご登壇の動画は[こちら](#)をご覧ください。

https://note.com/kanmin_machi/n44b61a2c1f50 4/9

図 3.3-14note イベントレポート及び YouTube 告知記事

2023/03/16 19:43 【開催レポート】オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」 | 官民連携まちづくりDAY 2...



ローカルファースト型のまちづくりのステップアップ

- もっと地元で買い物しましょう。
- 夢をもっと語りましょう。
- 「具体的な目標づくり」→「小さな成功例作り」→「大きな目標づくり」→「大きな成功体験へ」
- (そして) エリアマネジメント団体と組みましょう。


「孫の世代にも残せるようなまちづくり」を目指して！

足立 基浩 教授による講演資料 (抜粋)

3. セッション (経済とまちづくりについて・質問への回答)

https://note.com/kamin_machi/n4bdf1a2c1f50 5/9

2023/03/16 19:43 【開催レポート】オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」 | 官民連携まちづくりDAY 2...



ファシリテーターとして、足立 基浩教授・まちづくりの研究者として竹ヶ原 啓介氏に加えて、O+Architecture合同会社の鈴木 美央さま・札幌駅前通まちづくりの内川 亜紀さま・株式会社滋賀銀行の山本 卓也さまにもパネリストとしてご登壇いただき「まちづくりの研究者・実践者・支援者」といった様々な立場の方々による経済とまちづくりに対するお考えを、皆様からのご質問への回答を交えながら、議論を行いました。

視聴者の皆さまからslidoにて、事前にご投票頂いたキーワードや質問への回答に対して、それぞれの立場や専門は違いますが、様々な視点から「経済とまちづくり」に対するお考えを聞くことが出来ました！

セッションの動画は[こちら](#)をご覧ください。

https://note.com/kamin_machi/n4bdf1a2c1f50 6/9

2023/03/16 19:43 【開催レポート】オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」 | 官民連携まちづくりDAY 2...




4. 民間都市開発推進機構より情報提供

最後に一般財団法人 民間都市開発推進機構の檜館 孝志さまより、まちづくり支援に関する情報提供をいただきました。

https://note.com/kamin_machi/n4bdf1a2c1f50 7/9

2023/03/16 19:43 【開催レポート】オンラインイベント「官民連携まちづくりDAY2023～経済とまちづくり～」 | 官民連携まちづくりDAY 2...

ご登壇の動画は[こちら](#)をご覧ください。



一般財団法人 民間都市開発推進機構の檜館 孝志さまの発表資料については以下からダウンロードください。

長都機構によるまちづくり支援について.pdf
6.16 MB
[ファイルダウンロードについて](#)

〈参考〉官民連携まちづくりポータルサイト 制度の紹介

官民連携まちづくりポータルサイト
本サイトでは、官民連携まちづくりを進める上で役立つ制度の紹介や、まちづくりの最新イベントなどの情報を発信
www.mlit.go.jp

「官民連携まちづくりポータルサイト【YouTube動画】」では、本イベント(2023)の動画の他、過年度(2021年・2022年)のイベント動画なども掲

https://note.com/kamin_machi/n4bdf1a2c1f50 8/9

図 3.3-15 note イベントレポート及び YouTube 告知記事



図 3.3-16 YouTube 動画 インプットトーク①の表示画面

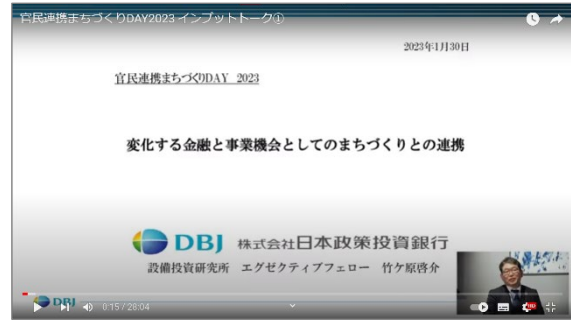


図 3.3-17 YouTube 動画 インプットトーク②の表示画面

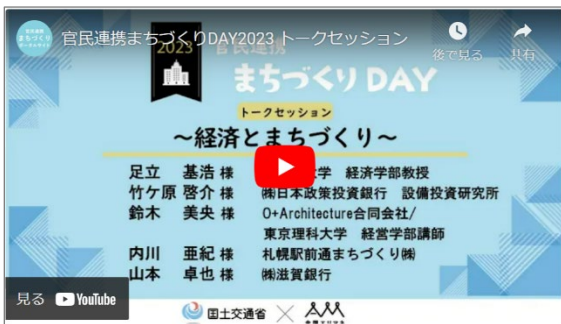
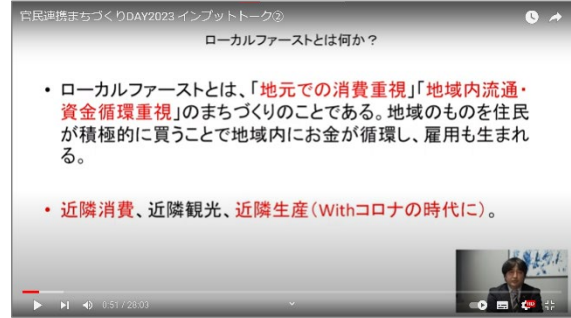


図 3.3-18 YouTube 動画 セッションの表示画面



図 3.3-19 YouTube 動画 民都機構からの情報提供の表示画面

